

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-86)、
廃棄物管理施設(61)、MOX燃料加工施設(2-47))」

2. 日時：令和5年8月17日(木) 13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、
武田安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他5名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月10
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理
- ・竜巻防護の設計に係る考え方の整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理については、原子力規制庁
から言われたことに対応するというのではなく、整理するために必要な
対応の方針を目的も含めて具体的に整理して対応を進める。その際、資料
の修正内容ではなく、当面どのような検討を進めるかといった観点で整理
する。
- ・竜巻防護の設計に係る考え方の整理については、目的意識を持たず作業を
行ったため、第1回設工認で示した基本設計方針との関係も十分に整理で
きておらず、現時点で十分な説明ができる状況にないことを認識した。こ
のため、改めて作業方針を整理した上で対応を進める。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月10日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:01	6を開始しました。
0:00:03	規制庁ヤマグチですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと判事等ヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また、
0:00:16	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:26	ヤマザキ成長側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からフジワラオオオカヤマグチが遅れて藤野が参加します。
0:00:36	あとその他WEBからコサクカミデタジリキシノタケダ以上になりますとそれでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成の説明をまたさして目標を説明して資料の説明を開始してください。
0:00:56	はい、宮城西原でございます。
0:01:00	列車でございますが、シェアリングチームからケットくん。
0:01:06	イシグロタカヤ。
0:01:09	イシハラ。
0:01:10	あと、今日竜巻関係がありますので、竜巻のサポーターとして、タナカ、施設的でございます。
0:01:19	あとはいつもの通り事務局、再処理MOXの事務局が参加しております。
0:01:25	はい。本日のヒアリングのアイテムですが、
0:01:29	8月10日に提出をさせていただきました。9日のヒアリングを踏まえた状況に係る修正対応方針、
0:01:39	あとは同じく10日に提出をさせていただきました竜巻防護設計に係る考え方の整理についてということが
0:01:50	ヒアリングアイテムだと認識しております。はい。
0:01:53	それぞれについて特にタカギの方はご指摘、
0:01:57	今までのヒアリングの状況を踏まえた上で、考え方を整理しましたのでその説明をさせていただきたいということでございます。
0:02:13	はい。
0:02:15	輪番ですが、影響通常に加え修正対応方針の方からということでよろしかったでしょうか。はい。季節ヤマグチです。お願いします。

0:02:26	はい。乳井西田様でございます。8月10日に、9日、すいません時間遅くまでありがとうございました92の関係のヒアリングをさせていただきまして、
0:02:39	その際に出ましたいろんなやりとりを踏まえ各これまでのヒアリングでえりも合わせて、共通に係る修正対応方針ということで、
0:02:52	8月オカずに資料として提出をさせていただいてございます。
0:02:59	はい。これまでは振り返りメモということで当日、その場でまとめたものを作っておりましたが可能な限りその1ちゃってましたので対応方針も含めて、
0:03:13	表形をして整理をして提出をさせていただきましたが、全部が全部対応方針まで書き切れてないところがございます。
0:03:22	これ今後どうやっていくかっていうのはちゃんと整理をして、より具体の対応方針が明確になるような指摘事項への対応ということを、
0:03:33	具現化してやりとりをさせていただいた方がいいかなというふうに思ってる次第でございます。
0:03:40	特段、後の説明はしませんが
0:03:45	東海らした修正対応方針については以上でございます。
0:03:50	はい。規制庁山口です。それでは資料について規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:04:02	ちょっと補足です。
0:04:04	まず最初ですね確認というか、
0:04:08	今、石原さんがお話しいただいたように、振り返りができなかった部分をその時にですね、コメントリストとして提示するようにと。
0:04:19	への対応ではあるんですけど、
0:04:22	うん。改めて、
0:04:25	見ていく等、
0:04:29	今回のものではまだ対応方針十分書けてないということではあるんですけど、振り返りの際にしっかりと対応方針を明確にすると。
0:04:40	いう、そこまで議論を深めるっていうのがヒアリングでやるべきことなのかなというふうに思っています。
0:04:48	その点で言えば
0:04:52	対応方針が書けてないっていうのはまだ十分ヒアリングで認識共有ができてなかったっていうことなのかなと。
0:05:00	いうところなんですけど。

0:05:02	これまでの振り返りのものも、結局は現状だとコメント欄に書くものに注視してて、対応方針っていうのを、
0:05:13	に行きつけてなかったっていうのが、
0:05:16	その後、
0:05:17	なかなかそのポイントが合った形で対応ができていかない、収束していかないっていうことなんじゃないかなというふうに思ってます。
0:05:28	そうするとですね、まずは振り返りの断面でしっかりと対応方針が書けるように、
0:05:35	いうことで
0:05:38	うまで文字起こしができるようにってすれば、
0:05:42	いいのかなと思ってましてもしそれができないのであれば今回みたいに、
0:05:48	少し文0へ出し、
0:05:51	対応方針を示していただいて、ずれがあれば、速やかに議論してと。
0:05:57	いうことで是正をしていくと。
0:05:59	いう方向もあるかなあと。
0:06:01	思ってますが、
0:06:04	あとは
0:06:07	今回だと例えば、
0:06:10	いえ、
0:06:12	4 ページのところの(3)1、
0:06:16	7月20日、
0:06:19	別途やっていたヒアリングの事項も、
0:06:24	入れ込んで全体として整理をしていこうというふうに作業されたんだと思いますので、
0:06:33	全体。
0:06:34	平仄をとって対応する意味では、有益な対応かなと思う一方で、結局くう出された資料ごとに、
0:06:44	コメントリストができてて、
0:06:47	あちこちに、
0:06:49	類似のものが散らばってると。
0:06:51	いうことになっていて、一応今回の資料提示では
0:06:58	番号を呼び込んだりして、整合をとって対応するような工夫は、

0:07:03	されてはいるものの、リストの管理という意味ではなかなか大変なものになってるなど。
0:07:09	思っていて、それで言うと、今回はしょうがないと思うんですけど、やはりタスクごとにしっかりと整理をして、
0:07:21	類似のものも含めて対応方針をちゃんと
0:07:25	冠したものとして収束に向かうように対応していくと。
0:07:29	ということが大事なと思うんですけど。
0:07:33	今の振り返りの仕方なり、リストの作り方なり
0:07:38	先ほどの進め方なりといったことでちょっと後半にお話しましたけど、県で今どういうふうにしてもらえるかお話いただけますか。
0:07:47	はい。日本原燃石田でございます。
0:07:50	まず対応方針を、ヒアリングの場でしっかりと共通認識を持つというのは非常に重要だというふうに認識をしています。
0:08:01	そう例が理由でということではあるんですけども私もヒアリングでやりとりをさせていただく際に、いろいろとお話をいただいたものに対して、
0:08:13	こちらとしてはこういうふうな考えにいます。それを具体化するためにはこういう方向で進めていきたいと思えます。
0:08:22	いうのを、中桐、その場でご回答させていただくようにしているつもりですまだ明確十分ではないと思えますがそういうことをやってるという認識もありますので、
0:08:35	振り返りの際に、少なくともそういうところをなるべく拾ってですね、振り替えメモでいただいたコメントの5点とかご指摘等我々がこういうふうに対応していくということを、
0:08:47	その日のうちになるべく具現化できるようにしていくというのがまず一つかなと。
0:08:54	プラスそこでどうしても、私が該当する時点でもやはりまだ、
0:08:59	どうしたらいいかということが明確じゃないものについてはお時間いただいてというかいちいち、次の日ぐらいですかね。
0:09:07	このコメントリストみたいな形で具現化して提出をさせていただいて、共通認識にそごがないか。
0:09:16	いうことを、後確認していくというやり方も、バックアップとしてはありかなと思ってました。
0:09:23	はい。
0:09:25	このリストの管理については、おっしゃっていただいているように今後の進め方で、

0:09:32	供給前に関していろんなタスクが同時並行的に走っていてそれぞれのタスクの関係であったり、何がタスクであってあるかと、いうこともお話をさせていただいています。そういったタスクごとに、
0:09:45	リストを作りながらそれぞれのタスクで出ているコメントなりが、
0:09:51	とか、複数のタスクに関係する場合にはそこで紐づけをしながら関係者で集まってちゃんと共通的な会対応方針になるようにと、そこがないようにというのをやりとりをして、
0:10:02	それぞれのコメントリストに落としていくということかと思いますので、そういうことも、
0:10:08	やれるような体制なりを組みながらやらせていただければと思います。
0:10:14	今回最初に関係のやつを合体させたのも明日、
0:10:20	の今後の進め方でお話をしようと思っはいましたがいくつかのタスクをバラバラと立ち上げてみたんですけどやはり、
0:10:29	まとめてやらないと、どうも辛いなんて相互関係を取りに行くのがなかなか難しいなというのは、タスクを一つにまとめてやるっていうことも一つ考え方としてはあるかなというふうに思って、今回、
0:10:43	最初の別でもともと走ってたやつのコメントも入れて、
0:10:47	一つのパッケージにさせていただいたのもあります。そういったことも、タスク間の繋がりだったり、タスクをどう立ち上げてやっていくかということも整理をした上で、
0:10:57	このコメントリスト内の管理をしっかりとしていければと思ってました。以上です。
0:11:08	はい、古作です。ありがとうございます。そうすると、
0:11:15	まずはこれまでやっていたように、できる限りその当日に振り返りをし、対応方針っていうのを明確にしていくと。
0:11:27	いうこと、それで十分でないようなものについては今回と同様に、
0:11:37	速やかに原燃内で整理をして、資料、コメントリストの形で形いただくと。
0:11:44	いうことで理解をしました。今、すいませんコメントリストと言ってしまったんですけど、
0:11:55	すいません。
0:11:56	五味。自分の画面が変なふうになっちゃうし。
0:12:08	ですね。
0:12:11	先ほど言ったように対応方針が整理されてればいいんで、規制庁が何言ったっていうようなことをわざわざメモに起こす必要はなくて、
0:12:21	そうするとコメント欄っていうのは、実は不要なのではないかなあ。

0:12:26	という。
0:12:28	ことが、
0:12:29	であります。現状でもコメント欄に書いてのオウム返しで対応方針書いちゃってるところもあるんで、
0:12:35	こんな分なら作業をする必要もないかなと思うんですけど。
0:12:39	ええ。
0:12:42	そうしてもらいと比較的対応方針を書くんだって意識が芽生えるかなとかって思うんですけどいかがですかね。
0:12:51	人間でしたでございます。はいおっしゃっていただいていることは理解をします現状、ご指摘いただいたものを、バラバラと書いていくとですね、同じような対応方針をするものも結局個別に起こっ。
0:13:07	起きてきて、一体それぞれどういう関係なのかっていうのを考えながら、整理をして結局対応方針が、幾つかを合体させて一つの対応方針で、絶対整理をしていくと。
0:13:18	いうことになる場合も当然あるので、そういったことを整理をしていく意味でも、
0:13:24	我々の中では当然どういったやりとりがあったかっていうことを残しながらも、実際必要なのは、
0:13:32	どの項目に対してどういう対応をするのかということ、残していくというのが重要なのかなとかってそれが、
0:13:41	いつまでにやらなきゃいけないどの資料とリンクをしている現状の進捗がどうなってるというのを管理していくのが、
0:13:49	このリストタイマー正しく対応方針ですね、としての、
0:13:54	リストとしての意味合いかなと思ってました。はい。
0:14:01	はい、加来です。そうしましたら、今現状だとコメントごとみたいになっちゃってるのでそれを方針ごとに整理をし直して、
0:14:13	対応がどこまで進んでいるのか或いはその方針変更があればその変更したもので管理をしていくと。
0:14:20	いう形に整理し直していただけるといいかなと思っています。で、その点で言うと、
0:14:30	ここはまた順次お話しますけど、
0:14:33	現状だと、耐震で整理をしてしまう。
0:14:38	いるところで、
0:14:41	後ろの方ですね。
0:14:46	10 ページから 5 ポツ耐震に関するコメントと、

0:14:50	なってますけど、
0:14:55	それで帰って話は前のヒアリングからも耐震だけじゃなくて、評価する、2-2で説明する必要のある条文関係、一通り同じことですよと。
0:15:08	いうことを申し上げてるんですけど、結局、一通り資料で何をやったかっていうことに意識が向いてしまってるっていうのが現状です。
0:15:24	この辺りはアノに、
0:15:26	この辺りは全体に対して整理いただけると思ってます。いいですね。
0:15:32	はい。宮城ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りでいただけると思ってます。
0:15:41	はい。ももとの資料に対し、どこの資料のポイントでやりとりがあったかに大分傾注し過ぎて、もともとベースにある予定が出てきたっていうところがあるので、
0:15:54	大きな項目としては評価のポイント評価と、構造設計等のリンクだったり、評価として扱うものと、
0:16:05	を考慮して設計児童をフィードバックとか形状考慮するものを抜き出してくるかというところがポイントだと思ってますのでそういうポイントに対して、
0:16:15	どう整理をしていくのかというのを、対応方針として求めていくということで認識をしております。
0:16:24	はい、日下です。そういう形で対応方針整理いただければと思うんですけど。
0:16:30	その点でちょっと具体にはいって言いますと、
0:16:35	共通中に資料1 資料2 資料3 ということで作っていった資料3の説明の時に、評価に繋がるような配慮事項をちゃんと見えるようにしましょうねというのが事の発端だったんですけど、
0:16:50	資料2の段階でも、
0:16:53	基本設計方針の並べた上で、
0:16:59	構造に関係するものなのか、システムなのか。
0:17:03	或いは評価なのかっていうことで分類をされて、
0:17:07	基本的には構造なりシステムとカトウ、A評価っていうのが設定
0:17:14	セットになっていて、
0:17:16	関連性があるものをちゃんと紐づけしますよというこれまでお話しいただいたということなんですけども、
0:17:22	そうした場合に、表カーのウで考えなきゃいけないことっていうのがその並んでいる構造なりシステムのところで見えていれば、

0:17:33	項目が資料3で拾われていくことで、
0:17:37	対応できるんですけど、
0:17:39	そうでなかった場合っていうのはどういうふうに資料3で広井込む形にするのか、っていうのは作業イメージを持ててますか。
0:17:50	はい。乳井西原でございますはい。
0:17:57	パッとずれてるかもしれませんがおっしゃっていただいて、私の認識としては、
0:18:03	それで資料に構造設計システム設計とかと絡む評価については基本設計方針からの紐付けで、設計も項目を立ち上げて、D評価自体が構造設計とどれと紐づくかということを整理をしています。
0:18:18	ただちょっと認識としては、資料2の段階で作る時に基本設計方針が評価にダイレクトに、
0:18:25	結びついてる人も中にはいるんじゃないかなと。それは直接、資料2から資料4、新しく作ろうと思ってる資料よりとる者もいるということもあると思ってます。あとは、
0:18:38	何ですかね。
0:18:44	でもあれか、同じ条文で、設計と評価が並ぶ場合があればいいんですが違う条文跨ぎである場合は、資料2の中で紐付けをして、
0:18:55	何とリンクをするのか、資料3にどう飛ばすのかを整理しないといけなかなと思いつながら、具体的なアイテムを持ってちゃんと整理の仕方をお示しをしないと、多分、私の頭も整理しきれてないところもあるので、
0:19:09	ちょっと整理をしてみたいと思いますはい。
0:19:15	はい。補足です。言われるように、部隊見てった方がいいなと思うんですよ。で、次回には、一通り見てもらってですね。
0:19:28	今言われたその評価しかないものっていうのは、構造設計等で配慮する必要がなければそのままいいんですけど、
0:19:36	必要があるものっていうのが本当になのかっていうのを議論をしたいと。
0:19:41	それがあったものについてどういうふうに求めることで、
0:19:46	原燃の加来担当がいつ技術ってか同じように作業ができて、資料3まで落とし込めるのかっていうそのスキームをですね明確にしてもらえればという。
0:20:00	はい。日本原燃市田でございます。はい。承知いたしました
0:20:06	等私もおっしゃっていただいている形で評価としての抜け漏れだったり、評価をやる上で考慮しなきゃいけない設計みたいのが、いずれかの構造

	設計等と絡むものが本当に抜け漏れがないかという確認はしないといけないと思っています。
0:20:23	それは資料2を全部作らないとできないのかという気もしながら何らかやり方を考えて、どういうふうな形で、それを見ていけば、抜け漏れがないということが確認できるのかって我々として本来、
0:20:37	やらなきゃいけないので、ということを考えていかない、行きたいと思えますはい。
0:20:45	はい、規制庁孔食です。全部やらなきゃいけないのかって言われましたけど、少なくとも現状やってる範囲でも、そういった検討事項があるはずなんですと事故名の関係と言いながら、
0:20:58	関連する一通りのものを今挙げて、MOXの方でも上げていってることですし、その中で当然耐震も入ってるってことなので、
0:21:08	ある程度の議論は、
0:21:12	できる環境にはあるんだろうなと思っています。少なくともスキームの整理をすとかっていうぐらいは、題材が出るんだと思うんで、作業をしていただければと。
0:21:26	はい、宮でございます。はい。承知いたしました。実際、資料2のパーツ5、大分でき上がってるものもありますのでその舞台を見ながら構造設計等と紐づくものが、
0:21:40	どういうリンクで評価と紐づくのかというところを、パターンがどのぐらいあるのかというのを見ていくと、ということを考えていきたいと思えますはい。
0:21:53	はい、規制庁、細木です。
0:21:55	具体的に設計で考慮を特にするものっていうのを、こちらがどうとってるのかみたいなのがこのあと先ほどのこの10ページ以降ですかね。
0:22:06	ええ。
0:22:08	耐震であげているところで認識がずれていそうなところがあるので、そういうのを題材にしながらかお話をしたいと思えますけど、今日はリストで順番に書いていただいているので、上の方から
0:22:22	で、理想だなというものを上げていきたいと思えます。
0:22:27	まず1ページ名ですけども、
0:22:31	私からは明日、
0:22:34	2行目。
0:22:36	の、
0:22:37	5-45。

0:22:40	なんですけど、
0:22:45	これで、
0:22:47	対応方針で説明の流れを変える必要がある場合と、
0:22:53	いうふうに書いてあるんですけどこれがどういう意味合いなのかの認識が合っていないと。
0:23:01	あまり話を進まないような気がするんですけど。
0:23:04	何を考えんなってるんですか。
0:23:08	はい、日本イシダでございます。はい。まず、すみませんこれは私が取りを社内ですながら、建てた文章ではあるんですけど、まず
0:23:19	大分、対応方針の1番目の文章と2番目の文章でちょっとジャンプアップ質疑だなあというのがまず反省でございます
0:23:32	2番目の説明の流れを変える場合がある場合にはっていうのはもともと今後の進め方なんかで幾つかの先ほどあったようにタスクが立ち上がっていてそれぞれの
0:23:42	説明方針なり、何を整理していくかというのが流れがあると。
0:23:46	いうことも含めて、何らかそのそれぞれのタスク間で影響がある場合は、その他のタスクに対してもしっかりと見ていく必要があるよねということで、備忘録的になっていうのはよくないかもしれないけど、
0:24:02	書いた文章ですそれはベースは、もともと、それぞれのタスクアカシだせてアノ、
0:24:09	対応方針を決める上では、それぞれの相互間のリンクも図っていくっていうのをやるのが前提で、万が一そういうことに影響があるようなものがあれば、ちゃんと拾うんだよということを改革ということでした。はい。
0:24:26	藤規制庁補足です。
0:24:30	考えていることはわかりましたけど文面で伝わらないとですね多分作業者も間違った理解をしていくだろうと思いますので、
0:24:41	気をつけていただければなと思います。で、といっても、この項目はあれですかね。
0:24:47	ペーパーという、整理すると、これ自体はなくなるんですかね。
0:24:52	はい。人間ニシダでございますはい。方針として何らか、チーム分けをしてグルーピングしていくと、多分、
0:25:00	なくなるかなと思います。はい。
0:25:03	はい、磯部です。わかりました。であればあまり、今ここの言葉じりをどうこう言ってもしょうがないと思うので今後気をつけていただければ結構だと思います。

0:25:13	このページで、規制上から他にありますか。
0:25:20	規制庁の田尻ですと。
0:25:23	ちょっと更新自体はわかった上でなんすけど、上野からミツイオンダよっていうところであの会合資料で何説明するか整理します。越田ヤマダ清アノ。
0:25:36	ただリコメンデーションアカサカ日にちがたったんで、何か進捗があればと思って今聞いているだけではないですかね。はい。研修でございます。はい。会合で、どの範囲をとというのは現状、今日の時点、対応方針の1人をさせていただいて、かつ、
0:25:52	スケジュール的にも共通Gの説明タイミングがずれているというのが現状でございますそれも含めた上で、どういったことを、次回の会合で説明するかというのは整理をしまして、
0:26:06	ちょっと今日のこの状況も踏まえた上でと思って明日の朝1ぐらい出そうと思ってた今後の進め方の資料の中では、す。
0:26:17	明示させていただいているところでございまして、大きくは、共通12という名前といえば具体の設計についての説明というのを、
0:26:29	どういうやり方で網羅性なり体系的に説明をしていくのかというのを、具体的な例示を踏まえながら展開をしていく様を、
0:26:40	説明をさせていただくことぐらいしかまだ今の現状ないのかなと思ってたところでした。はい。
0:26:48	鳥井です。現実的に説明ができる範囲、ちゃんと絞ってってのを検討していて、詳細はそういった進め方にヒアリングでっていうことですかね状況はわかりました自分からは以上です。
0:27:05	規制庁コサクです。
0:27:08	その点ではまたスタッフの志賀できればと思いますけど、
0:27:14	何もしないというよりは時間もかかっていることだし、現状がこうなっていると。
0:27:20	何を検討してるかっていうことは、明確にさせていただいた方が、検討していただければと思いますので、整理をして、また明日話をしていただければと思います。
0:27:32	規制庁部から、1ページ目オカなければ2ページ目。
0:27:38	方に移りたいと思います。
0:27:43	2ページ目から数枚、(2)ということで続いて、(2)ナカ(2)が1項目だけで(3)、本文関係と、
0:27:52	いうことに、

0:27:55	なってますけど、特に、前回のヒアリングは本文での構成なり、記載内容ってというのが整理ができてないというような話だったので、項目としても多く、
0:28:07	ということだと理解をします。
0:28:10	この中で、
0:28:15	まず 5-3 なんですけど、
0:28:30	重複しないように構成を検討と。
0:28:36	ということなんですけど。
0:28:42	これ、具体的にどういうふうにしていくかっていうのを、もう少しご説明いただいてもいいですか。
0:28:54	はい、日本イシハラでございます。もともとすいません対応方針に書いた重複しないと言っているのが大分誤解を招く表現だった気がします
0:29:08	それぞれのタームで必要な役割に応じて必要なことを書くということで、1 ポツ 1 の(1)は、大枠の方針をしっかりと示すと、そこは
0:29:22	細かい話で言えばこういうことを類型分類としてやるんですよということを示して、実際の中身が 2 ポツですので 2 ポツはそれを具体的にどう展開していくのかと。
0:29:33	いうことを示していくということかと思っておりますので重複しないようにというよりは、それぞれの構成に従って交付項目に従って必要なことをしっかりと書き分けていくと。
0:29:46	ということが対応方針かと思えます。はい。
0:29:51	はい、朴です。その中では今 1 ポツ 2 ポツの支部系のような話をされましたけど、(ウ)何番ってというようなことだったり或いはその前に柱書きが書いてあったりというようなことで、
0:30:06	それでも重複があったりしてっていうことでしたけど、そのあたりはどうですか
0:30:11	はい。日本原燃石田でございますはい。走り書きもちゃんとそれぞれの項目で共通事項は、前回、下、後ろの方の項目で例えば 3 ポツところまで、
0:30:25	あと解像度の糞完全に書き分けて書いていたりというところもありましたそういうところもやはり共通的なことをやはり柱が切り換えた上で、個別の違う部分をそれぞれで展開するとかですね。
0:30:38	方向性を考えた上でそれぞれのところで必要なことを書いていくと、なので、全体のまず構成を決めて、どのようなところで、どういうことを書かなきゃいけないかというのを大枠を作った上で、

0:30:51	具体の記載に展開をしていくというのを、しっかりとやっていければということ考えてました。
0:31:01	はい。
0:31:03	はい規制庁不足です。そのあたりももう、ここでその町、
0:31:08	対応方針で、
0:31:12	増幅しないようにただ言うだけだとよくわからないので、対応方針で整理するのであればこういうような記載の仕方っていうのでまとめていきますっていう、
0:31:23	内容を書いていただくっていうことをしないと、各執筆者もどうしたらいいのかっていうことになるでしょうし我々もどうしていくつもりなのかもわからないと、ということなので
0:31:34	そういうところも今後対応方針整理する際には気をつけていただければと思います。
0:31:41	はい、起因事象でございます。はい。おっしゃっていただいている通りかと思えます
0:31:48	人間が、その意図がわかるように、対応方針がでは方針を示すということで、具体的に示していけるようにしたいと思います。はい。
0:32:00	はい。規制庁、蘇武ですよろしくお願いします。次5-6なんですけど、
0:32:05	これ指摘が電気設備等というような形の書き方になっていて、対応の方には電気設備とは言っていないんですけど、
0:32:17	ここは、どの範囲どういうふうにするつもりかっていうのを説明いただけますか。
0:32:23	はい。乳井の伊勢でございます。はい。おっしゃったように、電気設備等というか個別で挙げたものを、宇都大枠、防護対象として挙げたものを、それぞれもともと分けたときの考え方はあるにしろ、
0:32:39	それぞれの条文ごとに、変更として要求しているものをウォーターと見た上で、
0:32:51	外部衝撃だったり、外的事象だったり内的事象だつてそれぞれの条文があつて、それは防護対象等に入れているものも個別に挙げたものもそれぞれ同じような設計を展開をしないといけないと。
0:33:07	ということだと思ってます。何がどこで、どういう要求は重複しているのか、それを資料2、資料3でどう説明していくのか。
0:33:17	いうことを整理をしないといけないと思ってます。
0:33:20	あとは具体的には、個別であげなきゃいけない。ここに書いて例示だけで電気設備もそうですが5-16で、その下にある、

0:33:31	引退制御建屋とか個別挙げて報告項目全部ではあるんですけども、
0:33:36	個別の要求事項って何があるのというのを考えた上で、これを一つイデ立てる必要がそもそもあるのかってのどういう線引きをしようかなんてところまだ実際は悩んでいます。
0:33:51	個別の要求事項があったとしても、合わせて、その資料2の中で展開をしていけば、
0:33:59	設計説明分類が個別に受けるだけで別にだんだん煩雑性はないんですけど、
0:34:05	資料3に行ったとき、ピンで、そのある必要性がそもそもあるのかなっていうところをちゃんと見極めていかないといけないと思っていて、
0:34:15	現状そういうところの作業がまだうまくできてないところがあって、該当対応方針も、わっとしているというのが現状だと認識をしています。
0:34:27	規制庁、宗です。まだふわっとしているということ。
0:34:32	あれなんですけど、結局は個別にあげてるのって、個別条文機能要求がかかっているもの。
0:34:44	を説明しなきゃというところを、個別条文要求なので主で説明することだろうというので、条文に上げた結果としてまとめようがないということになっ
0:34:58	ていたんじゃないかと思うんですね。
0:35:01	一方特に今、共通12の主にしてるの構造設計の説明っていうことと言えば、あまり
0:35:12	個別条文の機能要求に対応して、
0:35:16	構造として配慮してることっていうのが、さほどなくて、
0:35:20	2-2の方の説明の中にはいくつかが出てくるんだとは思いますが、
0:35:25	さほど個別の説明を要しないというようなことがあるので、そうすると、
0:35:31	構造説明においては、他のハザード側の関係で、のことが多くて、そちらにまとめられるんじゃないかっていうイメージが思っているっていうことで、これが焦点だと思うんですけど。
0:35:47	その点、先ほど
0:35:51	わざわざ分けなくてもみたいな話をされたときに、
0:35:56	設計説明分類を一つあるものっていうような感じで言われたんですけど、
0:36:03	分類としては挙げつつ、グループとしてまとめるという選択肢もあれば、今言ったようにハザード対応としては他と一緒にその説明としては同じ分類ですということで、

0:36:16	設計説明分類大井の中に入れてしまってその中で、条文としては
0:36:23	この条文も
0:36:24	ぶら下がるものがある、それについては
0:36:28	説明、この場所で説明しますということで説明事項として挙げ上げていくと。
0:36:34	いう手法と、
0:36:36	とり得ると思うんですけど。
0:36:39	そのあたり、どこまで、
0:36:42	頭の体操してるのかっていうことを教えていただけますか。はい。弓削ニシダでございます。はい。
0:36:50	移動させていただいてるところは、まさしくおっしゃったようにパターンが二つ、2パターンは少なくともあるなということで議論をしまして、
0:37:00	やはりどうしても
0:37:05	細かい細かいというか資料に資料3に行った時、例えばですけど資料2の時点で、代表の汚染の選別とかもあります整理とかもある、あるので、
0:37:16	そもそもこの1個別に
0:37:19	説明をしないといけないものって何かあるのかということも整理をしながら、議論したいなと言いながらもなかなかネタが上がってくる2、私の頭の中で、
0:37:30	整理してるだけに今なってる感じになってます。
0:37:33	おっしゃっていただいたように私の施工はどちらかというと、説明グループの中で、複数の設計説明分類がありつつ、
0:37:47	説明としてはどちらかに預けるというやり方をベースに今考えてましたけどおっしゃっていただいているように、
0:37:55	同じ設計説明分類してその中で、考え方設計は同じですと別に設計にフィードバックすることも多分あまりないので、そういうことを整理をしていくっていう方法も、
0:38:08	あるのはあるという認識はあったんですけどあまりそちらの方を考えてなかったところもあるのでちょっと整理をしてみたいと思いますはい。
0:38:21	はい。補足です。
0:38:23	分類まとめてもう市場分複数出したりっていうこともあったと思うんです。
0:38:30	衛藤。そうすれば複数挙げられるのであれば今みたいなのも、あまり気にしないで済むかなと。

0:38:38	思いますし、そのうちのどれがそれに当たるのとかってというのは、真面目なものも結構多いと思うんで、さほど混乱はしないと思うんですけど、いろいろとどう、
0:38:49	整理するのが一番、
0:38:51	理解しやすいかということで整理を進めていただければと思います。特にこれ電気設備ってなって、電気設備は皮膚が一番中心だと思いますけど、
0:39:03	計装系で言えば、落雷関係。
0:39:08	あとは、同時に溢水なんかも、
0:39:11	電気系だと気になるというようなところがあると思いますけど、
0:39:15	いうことだったりするので、それぞれ具体何で、それに対して何を説明すべきかっていうことを思いをはせればですね。
0:39:25	その設備の説明としての資料3というのはどうあるものなのかな。それと同じ。
0:39:31	で説明しちゃったほうがいい。
0:39:34	グループ、グループじゃないや、どんどん行って、
0:39:36	どれかなというようなことを考えていただければ、
0:39:41	なるべく、
0:39:43	同じような説明をしないで済むようになってということで、考えが整理できるんじゃないかなというふうに思います。特に通信なんかは、
0:39:53	あまりその構造なり何なりで説明するようなこともないと思うんで、その点でも納得感のある形に整理いただければと思いますけど。
0:40:03	はい。宮城ニシダでございます。はい、ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいたように電気設備、他の屋外にあるものは屋外の環境によって
0:40:14	ハザードに対する設計って結局、あまり個別感はなく、同じだよとか、水も、屋外の溢水とやっぱですね、含めて考えなきゃいけないことが、どういう共通的なものであれば、
0:40:27	わざわざ挙げて説明をするということもないんじゃないかというお話もおっしゃる通りだと思います。そういうことを具体的に並べていって、どういう分類、整理をしていくと、資料に市長さんが、
0:40:42	売りわかりやすくなるかと、効率的な説明ができるのかということをしつかりと整理をしていきたいと思います。はい、ありがとうございます。

0:40:51	はい。補足です。次、5、7ですけども、これも何を言ってるのかちょっとよくわからなくなってるんですけど、先ほど少し話だったら僕須藤再処理で分けて書いてるけど共通だよねという話の、
0:41:09	事故
0:41:12	整理しますっていうこと自体はそうなんですけどどこまでがその共通と 思っているのか、何が違うと思ってるのかっていうことが、やはり食い違 いノモトになってると思ってまして
0:41:23	前回のヒアリングでもお話してますけど、
0:41:29	基本的には、
0:41:31	説明事項っていうのを抽出してしまえば、あとは同じフローっていうこと だと思ってまして。
0:41:38	その他変更についても一つの説明事項だよねと思えば、大枠違う形で 進んでいくなんでありえないよねと。
0:41:48	いうふうに思っていたところなんですけどそこは認識は合ってるんでしょ うか。
0:41:58	はい、宮城瀬谷でございますはい。おっしゃっていただいたように何を説 明をしないといけないかっていうことを整理をして、その説明項目の一 つであることは変わらないので、それを全体見てどういうグルーピング なりをしていくかと。
0:42:14	いうことの一つIPMの一つであってこれは独立する必要もないというふ うには認識をしています。はい。
0:42:22	はい。補足です。そうすると先ほどの電気設備等とのところで話をしたよ うにですね、まとめるものはまとめてというようなことが、もっと合理的に 話ができるというふうに思ってます。
0:42:35	若干ミスリードになってしまったのは、分類の整理というところで体系図 を書いた時に、一番最初の枝葉で、新基準対応なのか、その他変更な のかとかで、
0:42:49	分けてしまったのがこういう問題点を起こした原因かなというふうに思う んですけど、改めて認識をして整理を進めていただければと思います。
0:43:01	はい。日本原燃伊勢でございます。はい、ありがとうございます。おっし ゃっていただいている通りですね。はい。まずは今回の新規制基準での 扱いを、メインのところ何かと考えるかということも含めて、全体体系 的に
0:43:19	項目を整理をしていくということをさせていただきます確かに、新規性基 準KI点灯それ以外に分けたのも私が最初発生したので、

0:43:30	そこがかなり方向的にずれてしまったところがあると思いますので今一度、全体見て、
0:43:36	必要な整理をしていきたいと思います。はい。
0:43:39	はい、本郷ですよろしく申し上げます。
0:43:42	新基準対応とそれ以外っていうところで話をした原因としてはその他変更忘れずについていうことがあって、その他変更事項、対応するものが
0:43:56	説明事項もまた違ってくるよねっていうことがあったので、なので、分類が分類で、
0:44:04	清、類似のもので整理をしていただければいいんですけど、その説明事項を抽出するっていう際に、そういう視点でしっかりと漏れなく上げていくんだということが整理されていけば十分だと思いますんで、
0:44:16	その点で特に共通中の1歩通なり2ポツなりの前段部分で整理されることだと思いますけど、しっかりと、
0:44:27	述べていただければいいかなというふうに思います。
0:44:32	はい、宮城西田でございます。はい。ありがとうございます承知いたしました。
0:44:38	はい。規制庁不足です。そうするとですね次の5-8も同じかなと思うんですけど、既認可からの変更点っていうのも、同じく説明事項ということで整理ができると思ってんですけど。
0:44:51	うん。いう認識でいいですか。はい。日本インダでございます。はい。県民からの変更点正しく変更した事項としての説明項目。
0:45:01	の一つでしかなくて、これはあの辺で何か成立するものではないので、そこも全体整理の中で、どう位置づけるかということはしっかりと整理していきたいと思ってます。はい。
0:45:15	はい、細木ですよろしく申し上げますで、ここが一番その評価だけで出てき得る場所で設計としては変わってないけど、評価を変えるんだと、D評価の
0:45:27	説明事項ということになってきてっていうのがあるかなあと思うんで、評価だけが変わって設計に違いがなければ多分設計上特に配慮っていうのも、
0:45:41	言わなくて済むのかもしれませんが、
0:45:45	この点も整理をしていただいたらいいかな。
0:45:52	はい。乳井石田でございますはい、ありがとうございます。はい。設計とのリンク、評価として、

0:46:00	抜き出すものなのか、構造設計と肥後とかは今全体的にちょっと抜け漏れがないように、頭の方でちゃんとピックアップできるよねっていう、
0:46:10	いうことをしっかりと枠組みとして整理していく必要があると思ってますんでページを進めます。
0:46:18	はい。補足です。次の 59 ですが、
0:46:24	言ってる。
0:46:25	対応方針のパターンのところで関連条文の説明の抜け漏れなく説明する必要があると。
0:46:34	いうゴトウなんですけど、
0:46:39	いろいろと、
0:46:41	もともとその条文、1 処分ずつぽく、信用していたところをやはり関連してるものはまとめて説明しないとということになって、ふくそうし始め、
0:46:53	いったところがあるんで、
0:46:56	拾い漏れのないようにしていくと。
0:46:59	ということでの留意事項を記載したい。いただいてるんだと理解を
0:47:06	していますが、
0:47:10	そういったところ、
0:47:13	その漏れそうなものっていうのを、
0:47:16	後ろで拾えるように説明するのか、前段の、最初に出てクルー分類のところ、
0:47:25	説明してしまうということなのかっていうことで、
0:47:30	どちらを、でやるのがいいのかっていうような古藤なんかも、認識を合わせていった方がいいのかなと思うんですけどどんな感じでしょうか。
0:47:40	はい。日本原燃石田でございますはい。
0:47:44	もう具体のイメージを持って考えなきゃいけないなと思っております
0:47:50	ちょっとちょっとこれは誰でもまだ話ができなくて、私の個人的な考えではありますけど、関連する条文っていうのを上げた時にその設計要求事項がですね構造設計等に与える重要度というか
0:48:07	重み等、あとは摺動部としてでもその設計のリンクを考えて、全く独立して話ができるよねっていうものだったら、後に持ってきてもいいのかなと。
0:48:20	とはいえその関連条文の話をし、しない、していかないと地上部分での設計に影響があると、いうふうに考えながら設計をしなきゃいけないってものは、当然併せて説明をしなきゃいけないとかという、
0:48:34	設計の内容としてのないラインを項目を考えた上で、

0:48:41	説明のタイミングなりを考えるのかなと思ってました。
0:48:46	当然最初に全部関連する条文管理部も含めて関連する、適合性説明しないといけない情報は全部上げた上でそこでまず抜け漏れがないことが前提では、
0:48:56	あると思いますけどそういったことも含めて全体整理をしていく考え方をしっかりと、起こしていくのかなと思ってました。
0:49:08	はい。補足です。
0:49:10	先ほど知事部分でも分類まとめていけるものもあるんじゃないのかなみたいな話をしていくと、
0:49:21	それを、
0:49:23	わざわざ小出しにして後でやるのか前のところで一緒にやった方がいいのかっていうところは、
0:49:29	少なくとも明確にはした、しないといけないということだと思うんですけど、その設備に該当するっていう、
0:49:38	音がある。
0:49:39	わかりやすいかどうか、その場で説明しちゃったほうが早くないかっていうことだと思うんですね。それも内容の程度によると思うんで、それ単品で大分説明する事項があるっていうことであれば、
0:49:54	それに引きずられてももとの分類の全体で説明する古藤とふくそうするというのはよくないと思いますので、そのあたり程度感を考えながら、
0:50:07	グループなり分類管理っていうところで説明する。
0:50:11	内容量と、いうことを少し意識してもらったらいいかなというふうに思ってます。
0:50:20	はい、乳井西尾でございます。はい、ありがとうございます。はい。おっしゃったように設計説明分類を考えると、説明グループを考えると、きもやはり説明の、
0:50:32	その1体ごとにどれだけの設計Aとして説明しなきゃいけないような内容があるか。
0:50:39	それぞれ、何かそう案件があるものがないかどうなのかないのかっていうことも見ながら、整理していかないといけないと思ってます
0:50:49	一つの枠が広がり過ぎてモリ海が多くなってかえって説明がスピード感がなくなるというのもあまりよくないかなと思ってますのでそういうことも含めて、
0:50:59	全体整理ができればと思ってました。はい。
0:51:05	はい。補足です。

0:51:08	無給 2 ページまでを、私からお話しましたけど他に、このページで、規制庁側からありますでしょうか。
0:51:24	規制庁の藤原です。この後のページ、
0:51:28	関わってくるのでちょっとここで確認しておくのが適切かあれなんですけど、
0:51:33	この⑨のやりとりの中で、基本的にもう一度設計説明分類どういうふうにしていくのかみたいな話が出てきていて、
0:51:44	今回このせ、熱湯の整理とかっていうのが方針ごとに整理とかいう話もあったところであるので、出てきて
0:51:54	やりとりの中に出てきていたこの 16 なんかも入ってきており、等、
0:51:58	キーワードとしては、通信とかも入ってきてたと思うんですけど、そのあとの江藤 3 ページ以降になりますけど、この 16 とか、この 17 であったり、また、コウノ 19 であったり、
0:52:10	6-4 とか、そういったところなんですかね、そういったものっていうのはさ、先ほどの 5-6 のやりとりの中での整理で、きちんと検討されれば、オノ 1 というか、一緒に整理されていくものというふう認識しておいていいですか。
0:52:26	はい。人間 20 でございますはい。同等お話をさせていただいた学校の対応方針、コメントイレが対応方針をメインに、
0:52:37	しっかりとまとめていくということが必要だということと、方針として建物の
0:52:45	項目によって、グルーピングしてやっていくということだと思ってます。そういう意味でいくとおっしゃったように先ほど来話があったオノ 66-7 とかですかね、
0:53:01	5-17 もそうかな。そういったものが全部まとまって、設計説明グループ誘導整理していくか逆に設計説明ぶりだけではなくて説明グループも合わせて、
0:53:13	共通上限をどう構成していつある分類額をどう考えていくのかと。
0:53:19	いうこと、説明の仕方も含めてですねっていうことが一つの柱かなと思ってますので全体含めて、そこを提示していくというふうな認識しております。
0:53:30	規制庁の藤村です。ありがとうございます。こちら等も認識合ってるような気がするので、よろしく願います。
0:53:46	はい。規制庁不足です。そうしましたら、次の 3 ページに移りたいと思いますけど、

0:53:55	三瓶G、
0:53:57	午後、
0:53:59	急を見てて、
0:54:02	対応方針で、対策設備と防護対象等の区分けの考え方を再整理と。
0:54:10	いうふうに言われていて、
0:54:12	再整理と。
0:54:15	いうふうに言われて、これは竜巻の方でも関係するかなあという気もするんですけど。
0:54:27	対策設備っていうのは基本設計方針でも、
0:54:31	要望として使ってて、明治、
0:54:35	具体のその対象物のイメージ。
0:54:40	明確になっていてはずしようがないっていうようなことのような気はするんですけど。
0:54:48	悩ましいのは、建屋だったり、既設でもともとあるものだけど、
0:54:57	機能としては、そのものが直接の機能ではなくて、
0:55:03	比較的対策設備のように防護する。
0:55:09	主になる。
0:55:11	いうものについてどう扱ったらいいのかっていうことのような気はするんですけど。
0:55:17	この辺り、
0:55:19	この再整理ではどういうふうに扱われてるんですか。
0:55:24	はい日本原燃石原でございます。はい。今おっしゃっていただいたようにもともと対策設備を区分けをしたのは、
0:55:35	対策設備としての要求であったりその機能を期待をすると。
0:55:42	ということで、個別に上げなきゃなるということが先に走って分けてましたとはいえ、外部衝撃のハザードに対する要求で、耐えますとかです。ね構造強度維持するとか、
0:55:58	いうことは別に対策設備だから、
0:56:02	というわけではなくて、建屋で、もともとあるものを期待しますと言ってる風土とか扉とか壁とか、そういうのも、結局、要求は同じ要求に対する設計の多分説明としては同じような展開になるのかなと思ってます。
0:56:22	これも多分、項目としてどうハンドリングしやすいかっていうところを考えて、今まだ対策設備はそのまま残したいなと思いつつやっていますけど、

0:56:34	実際、区分けをして設計を2回説明する部分がどうしても出てくるような気もしていて、そのやり方をどうしようかというところはまだ検討中ではありません。
0:56:46	結局は防護対象等の
0:56:48	屋外、建屋構築物ですかねそのあとで9アノ構築どこ行ったんだみたいな話とあわせてですけど建屋構築物みたいのと、機器配管含めてやることあんま変わらないんじゃないかなという思いもあります。はい。
0:57:05	はい、細井です私もそう思ってて、実はこの分類を約いったところ結局その防護対象設備でも、屋外の設置設備であれば、
0:57:19	ハザードに耐えるかどうかを説明しなきゃいけないわけですね。
0:57:23	そうすると、多少
0:57:27	機能が維持できるかっていうところでいうと説明項目としては、評価基準って言った方がいいかもしれませんが、違いは出てき得るんですけど、やること根本は変わらないよねっていう意味ではそうだなと思っていて、
0:57:43	その中間に建屋みたいなものがあってそうすると対策設備により近くなってくると。
0:57:51	というようなことなのかなと思ってます。
0:57:55	中間物であれば裏面、特に竜巻であればですね、裏面剥離を許容するのかもしれないのかみたいなのが、少し、
0:58:04	出てき得るかなっていうところで、
0:58:08	微妙な違いっていうのは、やはりその部分も出てくるんじゃないかなと思うんですけど。
0:58:14	それも
0:58:16	ちょっとした違いであって、それを体系的に説明する上では、まとめて説明した方がいいんじゃないかなというふうに思っています。
0:58:25	それ分類は違えどグループの中で整理をするっていう言い方もできなくもないかと思えますし、
0:58:35	どうやるのが一番わかりやすいかということに、結局はなろうかなというふうに思ってます。
0:58:43	はい、二本木西田でございますありがとうございますはい、おっしゃっていただいてもともと、今から説明することはそれを考えた対策ツジ提出者おかしな話になるんですけど、もともと考えた思考だけ説明しますと、
0:59:00	防護対象棟に建物を入れたんですねそれ入れた建物その子何だ、躯体で入ってるような風土とか扉とか壁とかそういうのを全部、

0:59:11	そこで説明しようかなと思った理由は、中に入ってる分を守りたい、守るために、その構造がある、その配置の関係も含めて一連で説明をしたいと。
0:59:22	というのがあって防護対象とナカ2アノ対策設備ではなくてそちら側に、建屋ウエエダってのはあります。とはいえ、説明しないといけない項目は、対策Bがもう防護体制等に入っている。
0:59:35	建物構築物も、変わらないということもあってそこをどう整理していくかっていうのをしっかりと考えていきたいと思います。
0:59:46	はい。コサクです。イマイれるように配置をセットにして説明したいってなったら対策設備だっ一緒じゃないかになっちゃうので、結局辛いなことではしかないんですけど。
0:59:58	対策設備については、新たに設置するものということで
1:00:07	裏面剥離なんかも起こさないように、しっかりと作ると、隙間なんかも管理して対応するというようなゴトウですし、
1:00:16	その意味では、しかも、基本設計方針でも分けて書いていたりしますので、
1:00:22	その点は
1:00:25	基本設計方針に基づきって意味では何らか分けてあっても、
1:00:29	いいのかなとは思んですけど、今言われたように説明としてはさほど変わらない部分があると思いますので、あまり整理にとらわれずに、まとめていただいたらいいかと思います。
1:00:43	はい。日本原燃志田でございます。はい。承知いたしました。
1:00:52	規制庁蘇武です。で、その次の5-11ワー、耐震との絡みってということですけど、
1:01:01	この再整理中方向は整理されてます。
1:01:07	はい、電源車でございますはい。
1:01:12	今はですね、
1:01:18	2-2のお話はあまり持ち出さないとはいえ館第1回で縦書きとかの、設計方針に係る添付書類とかの構成とか説明の仕方構造強度。
1:01:35	けど、この方法。
1:01:40	という店舗消費税の構成とかの説明を踏まえると、建屋構築物、建屋等構築物等、地域配管系とかをある程度項目を出して、
1:01:53	上げていくというのも、手かなというふうには思ってる人は今建物構築物にしたところで、

1:02:00	それぞれ何か違うところがあれば、一緒分類で分けて説明をすることもできるので、まあ、あの建物と小と中物技は分ける必要はないかなとは思ってますがちょっと駒田。
1:02:12	最終的なジャッジができてない。
1:02:21	はい。規制庁不足です。言われるようにですねここ細分化して何の意味があるんだってということで、いや私も知ってますので、
1:02:30	整理を進めていただければと思います。
1:02:36	それで続いて5-12、
1:02:41	ですけどもう、
1:02:53	これちょっと、
1:03:00	これは最初にお話したところで
1:03:06	コメントの管理の仕方っていう、
1:03:10	ゴトウのような気がするので、ここではこう書かれていますけど、再整理いただくってことでいいですね。はい。はい。萩谷でございますはい。全体のタスクでの管理として、
1:03:24	同じものはまとめてということで、かつ、この方針での整理、グルーピングして、まとめて整理をしていくということで考えてます。はい。
1:03:35	はい。補足ですよろしくお願ひします。特に評価系のものを整理されることを期待してますのでよろしくお願ひします。
1:03:45	次の5-13、
1:03:48	ですけども、
1:03:50	5-13については資機材での対応等が漏れないようにっていうことなんですけど、
1:04:00	これって何でもれる恐れがあるのかっていうようなことだったりどういうふうに、漏れないようにするのかといったことだったり、説明してございます。
1:04:12	はい。日本原燃石田でございますはい。ここはそうですねそういった配慮をしておかないと、対応する側が抜ける気がするので整理をし、
1:04:23	しなきゃいけないと思います
1:04:26	おっしゃっていただけてます堰外についても言っているところの設備であれば、資料1の段階でエントリーをされて、抜け漏れなくそこが、
1:04:36	何らかの設計説明分類に紐づいて展開をされていくと。
1:04:41	資機材みたいなものが
1:04:45	何でもいいというふうに、
1:04:50	これがいいんですか。

1:04:54	資機材の部分についてをし、確かに資料 1、縦軸にも入ってこない。で、実際は設計方針を許可整合も含めて展開をするときに、
1:05:09	その要求事項に対応するための体構造設計等の中で、
1:05:16	実際の構造だけで説明をする、もしくは配置とかシステムで説明をするだけではなくて、何らか資機材を含めた運用もセットで、要求事項を満足すると。
1:05:30	いうものがどんなものがあるかっていうのはあらかじめ全部挙げておかないと、抜け漏れが出るのかなというふうには思ってます。そういうこともした上で、資料に資料 3 の中でしっかりと
1:05:43	資機材を含めた運用というのが要求事項を達成するための一つのアイテムであると、いうことの認識をした上で、資料 3 への紐付けも含めてやっていくと。
1:05:54	いうことが必要ではないかというのが今の現状の認識です。
1:05:59	そういった作業を一つカバーしていかないと、確実に抜けるような気がしますはい。
1:06:04	規制庁コサクです。まずは、資料 2 の中で基本設計方針で、運用にかかる方針もあるので、そこに資機材が書かれていてと。
1:06:16	いうことうで拾われるんだろうなというふうには思っています。その際に資料 1 の方では入っていないので説明分類が入らず、
1:06:26	資料 3 に引き継がれないというふうになってしまうということだと思っんで、それをどう工夫するかと、ということだと思っんですね。
1:06:39	何らか関連する説明分類にぶら下げるっていうこと。
1:06:46	だとすればそのぶら下げ方っていうところを整理をしていただければいいですし、
1:06:51	或いは、
1:06:55	或いはっていうか、
1:06:57	今の話を聞きながら思い出していたのは、資料 1 の説明設備のリストのときに、
1:07:06	仕様表だけではなくて基本設計方針に書いてある設備についてもピックアップしていると。
1:07:12	ということだったと思っんで、それについては
1:07:17	対応するんだと思っんですけど。
1:07:19	瀬そこでの設備に入れるっていうのと資機材ってのはやっぱり線が引かれてるってことなんですよね。ちょっとね。はい。日本原燃石田でございます。はい。

1:07:29	おっしゃっていただいたやり方でピックアップされるようなものも、確かにあるってあるんですけど、単純に意識がを確保するとか、組織材として何らか、
1:07:45	添付で、
1:07:46	かな、出てくるようなものも含めて考えると、抜けどこで線引きされてしまうものがあつたと記憶をしています。はい。
1:08:00	はい、そうです。そうすると
1:08:06	その後の時タイガー。
1:08:08	方針なり仕様表には入らないと、というようなものでも、その防護策の中では説明が必要だということだと思ふんです。
1:08:19	そのご報告の場ができてることなんですね。それってのは、ものとしては表現されてなくて、防護方針として、何らか書かれているということだと思ふんで、それが
1:08:31	現状の資料2の整理の中で、どんな扱いになってるのかってということだと思ふんですけど。
1:08:39	それを一般の方針なんd展開する必要ありませんになっちゃうと、
1:08:45	広井群になっちゃうってことだと思ふんで、そういうバスケットクローズのようなものをちゃんと活用して、説明すべきことに漏れがないようになっていくことなのかなというふうにも思います。
1:09:00	いずれにしても、次回対応方針を整理する際に、資機材なり、そういう枝葉の部分っていうのを、が、資料2ではどういうふうになっていて、資料1ではどの、
1:09:13	運動なあって資料じゃないってことなんですけど、関連するものとして、葉をちょっとこういうものにgrass上げますアノだったらそういう言い方ん。
1:09:22	であつたりと、
1:09:24	いうので資料1 資料2 で資料3 でこういうふうに対応しますと。
1:09:28	というような方向性を、説明いただければと思いますけどよろしいですか。
1:09:35	はい。柘植西尾でございます。はい。承知いたしました
1:09:39	おっしゃっていただいたように一つある設計説明文に入る設備が重大事故の環境下例えば機能を発揮すると。
1:09:50	いうために、必要な資機材みたいなものは、その設備自体が環境条件に耐えるというために必要な要素として出てくると。
1:10:00	いうことでそれは仕様表上も本文許可上も恐らくは明示的に出てこなくてそれを具体的な設計に落とす時に、

1:10:10	それをしっかりと拾わないといけないというもの。
1:10:12	あと
1:10:14	積極的にその運用としてその必要な資機材を確保していくんだということに対して、その必要な資機材っていうのがどういうところで使われるのかっていうのを考えた上で、それぞれの設計設備
1:10:27	分類に紐づけて、展開をしていくということというのと、二つの視点で多分整理をしていかないといけないのかなと思ってますのでそういうことも含めて、
1:10:40	資料 1 資料 2、程度整理をしていくのか、具体の設計ではどう展開して資料 3 につなぐのかということ整理をしていきたいと思います。はい。
1:10:57	はい。規制庁コサクです。
1:11:02	それでは、結構ー15、
1:11:05	なんですけども、
1:11:07	これも繰り返してみたいな感じになりますが、パネル何年かのグローブボックスっていうのに限定して話が、
1:11:16	されているんですけど、
1:11:19	これももう少し共通の方針で整理をすべきものだったんじゃないかなと思いますけど、どうでしょうか。はい。宮城の石田でございますこれはまさしく前のページでやっていた設計上分類の整理として
1:11:35	他のもので、共通的なものがあつた上で、個別に項目を出す必要がそもそもあるのかどうかっていう全体の整理の中での 1 項目だと思ってます。
1:11:48	それで、先ほどの設計説明分類後説明グループを考慮した上で、どういう説明が分類していくかと、ということの中での対応できればと思ってました。
1:12:00	あとは今現状考えてるのはバネの何年か火災の条文の基本設計方針の方の 1 項目でしかないところで、火災に対する対応っていうのを考えればその中で、
1:12:15	十分法案されて説明をしないといけない項目なのかな。
1:12:19	と思ってますので、全体の体系制度の中では、一つの項目が起きるようなことは多分ないんじゃないかなとは思ってますはい。
1:12:32	はい。規制庁、奥です。
1:12:35	運転では先ほど藤原からも 56 号とかっていう話で上げて、その次もですけど、言われてましたけど、

1:12:44	そもそもケットク、勤怠上生業の制御建屋となっておりますけど、条文上記制御室だったりっていうのは、この条文は立ち上がっているかつDBとSAとそれぞれあるというようなことがあったりしますけど、
1:13:02	結局、どういうふうにするつもりなのかなって何か今、
1:13:09	藤椎野理事。
1:13:10	はい。与儀ニシウラでございます一つ検体成立に関しては、
1:13:18	まああの、ハザードに対する設計の説明しないといけませんし、それは外的内的含めてですけどもあとは、
1:13:27	その特化して居住性の説明もあるということで、居住性の説明に独立して、抜き出す必要があるのかどうかと。
1:13:38	いうことかなと思ってます普通に考えれば他の項目と同じで、防護対象と何らかのいわゆる建屋だったり設備だったり等、同じような要求事項に対しての設計を説明する。
1:13:55	制御室の換気設備も含めて実際は火山とかの要求でも当然入ってきますその他の外傷部関係にもありますいろんなものが、他のところで
1:14:07	条件重複って何だリンクして説明しないといけない項目があるので、それとの重複
1:14:15	どう考えるか、個別で挙げて居住性に対して特化して何か設定として説明することが本当に何か具体的に個別にあるのかということも含めて、分類を整理をしていこうと思っております。
1:14:27	個人的には個別で上げるよりは、他のものと合わせて説明するっていう方が、整理としてはいいのかなとは思ってます。そこも含めて検討関係者、議論をしていきたいと思っております。
1:14:41	はい。規制庁坂です。私も、居住性だろうなと思っては言ってますね、居住性としてはいろんな特にSA絡みになって、
1:14:53	てくると、いろんな工夫がされていたりもするので、
1:14:58	それを説明するのはそれなりに、
1:15:02	時間なり、物量が必要だろうなというふうに思いますんで、かけるなら分けるでもと思うんですけど、一方で見解ちょっと制御室はそんなに違わないかなと思うん
1:15:15	ですけどそこはまとめようかなっていう方向性からすると、単にそこは分けるつもりはないといけません。はい。そこはセットでいきます。はい。
1:15:27	はい。規制庁小崎ですわかりました。よろしく申し上げます。
1:15:31	リセッションわかりました。
1:15:39	規制庁コサクです。

1:15:41	3 ページで定例、他に規制庁からありますでしょうか。
1:15:50	ちょっとですね、
1:15:53	規制庁、
1:16:03	はい。そうしましたら、規制庁不足です。次のページに、
1:16:08	行きます、えっとですね、ちょっと飛ぶんですけど、5-31 番。
1:16:21	5-31 番で
1:16:25	ちょっと分ですけど、五味さん、括弧書きで、講師の方ですね、後半のコメントを聞いて、大坪さん、ご説明いただけますか。
1:16:51	はい、広井西尾でございますはい。これもすみません、大分時間切れん違って、さっと書いたのがあってです。
1:17:04	これは、
1:17:10	を、
1:17:11	個別補足をどうするかだったので、
1:17:22	うん。
1:17:27	対象となる個別補足説明資料をどう整理するかってところを含めて対応方針に、今現状、
1:17:36	資料の参考 2-2 ですかね、他資料 2 で、それぞれ対応する個別補足説明資料書いてますけどそういう形で対象となる個別補足説明資料を、
1:17:48	具体化して、かつそのタイミング必要なタイミングで個別補足説明資料を提出するというのが多分必要な対応なんですけども。
1:17:57	ちょっとそこが、全体書ききれなくてちょっとクシャツと書いてしまった結果だと思ってます。すみません。はい。
1:18:09	規制庁補足です。これを、後半のコメントの書き方もちょっと何を言ってるかよくわからないのであれなんですけど、
1:18:18	正常、規制庁側でこれ、そういう数字があって、どういう対応ですかっていうのもちょっと聞いてもらえたらと思うんですけど、どなたでした。
1:18:28	すみませんこれですね、イミュニティです。後で文字起こしを見たんですけど、前半部分しかなかったんです。
1:18:35	後半が何でできたかよくわからなかったんですね。多分なかったんじゃないかなと思いました。はい。高木さんとのやりとりで出たのは最初の資料のタイミング等個別補足説明資料の内容、
1:18:49	出てくるんだよねってやりとりがあったのは我々としても、さっき言って確認しましたが、そのあと対象物を明確こつてというのが、いまいちピックアップできなかったのが事実。すみません。

1:19:01	田尻です。この文言で入ってないんですけどちょっと他の項目に入ってるかもしれないんですけどなんか適合説明対象みたいな小信の話とかは聞いたんですよ。これは違いますよね。はい。はい。違うかなと思ってたんですけど。
1:19:19	はい。ので、すいませんもう一度確認をしますが。はい。対象としては、前半部分がコメントの対象だったと思ってます。はい。
1:19:32	規制庁コサクです。釈然としないものはありますけど、しっかりと整理をしてくださいということで、
1:19:43	先ほど田尻が少し言ったようなことであれば他の項目で対応されていくはずであって、方針検討中っていう、大枠で言えば方針検討中かもしれないんですけど、こんな書き方じゃないんじゃないかなというふうに思います。
1:20:00	コメントの方の最後にある代表と差分の考え方。
1:20:06	いうのも、先ほどお話をした
1:20:10	差分をどこでどういうふうに説明するつもりなのかっていうようなことだったり、そういうことにも関係してくるかなと。
1:20:18	思いますし或いは
1:20:20	中での具体の説明のサンプルの仕方、
1:20:25	ていうようなことだったりということで、これも
1:20:29	本文で
1:20:32	資料3をどういうふうに作っていくのかっていう方針の中にあらわれてくる項目だと思うので対応されてると思いますけど。
1:20:41	よろしいですね。はい。人間のインダでございますはい。設計説明分類単位では資料の中で代表との話もありますし
1:20:51	資料3にいけば同じ設計説明分類の中に、区長の設備があればその中での代表の考え方で、
1:20:58	いうことも含めて整理をしていってますのでその中で展開をしていければと思ってました。
1:21:06	はい。僕です。今言われたようにですね、設計説明分類だとカセ、
1:21:13	説明グループというものについては要望としても出されて、
1:21:20	本文側です。
1:21:21	考えが大分しっかりと書かれていくんだろうなと思ってんですけど。
1:21:26	資料3の中での、例示をしていくという中で、どこまで説明するか。
1:21:33	差分としてプラス説明する。
1:21:37	ていうことについて、

1:21:42	あまり、
1:21:43	イメージされてなかったような気がするんですね。で、
1:21:50	当資料 2 の方でし。
1:21:53	だからね、
1:21:56	代表性のようなところのマーキングもあったと思うんで、そこ
1:22:03	差分っていうのも見見えるのかどうかっていうところですけどそのあたりはどうなりましたっけ。
1:22:09	はい。日本インダでございます。はい。資料 2 の中で設計書不備複数の設計説明分類で、要求事項に対して代表を決めた場合には、
1:22:20	代表とその差分の話代表何したかってのが資料 2 で見えて、各資料 3 に行ったときに、代表になった設計説明分類の資料 3 の中で、
1:22:32	代表にしなかったものとの差分が何かあるかと、いうことを明示するようにしていますので、そのあたりは本文の中でしっかりとどういうふうに体系立てて、整理をしていくのかという、
1:22:45	方針をお示しできればと思ってました。
1:22:50	コサクです。すいません自分で資料に振っておきながらなんですけど、資料 2 では設計説明分類。
1:22:58	淘汰の設計説明分類との関係でしか整理できていなくて、
1:23:02	その分類の中での説明スルー、具体の設備、
1:23:09	が、トレイトどれなのかみたいなのところについては、
1:23:13	結局資料 3 での整理でしかないってことですかね。
1:23:18	はい、日本インダでございますはい。そういうことでございます資料 3 の中で展開をされるということを展開するということでした。
1:23:30	はい。規制庁附属です。それであれば少なくとも、今日通常 2 の本文で資料 3 をどういうふうに作り込むのかといったところの方針の中で、
1:23:41	必要十分な説明をするというときに差分はしっかりと、
1:23:47	チェックをして拾っていきますということがわかるように書いてあげればと思いますけど。
1:23:53	大丈夫ですかね。
1:23:55	ブレーン。
1:23:56	と思いますけど、
1:23:59	はい、乳井技師長でございます。
1:24:03	多分、現時点での頭の整理の中でも随分の配慮ができてない時期に来ますので、おっしゃっていただいた資料 30 年を、同じ一つの設計説明文の中での代表を、

1:24:15	規定であったり、それ以外の方の差分であったりというところを整理を、しっかりと書き込めるような形、
1:24:25	システムにできるように本文を整理させていただければと思いますはい。
1:24:36	はい、規制庁不足です。このページ私は以上なんですけど他に規制庁側ありますでしょうか。
1:24:57	よろしいでしょうか。
1:24:59	規制庁細田ですけど同じ対応方針のものとかはあるので、
1:25:06	これで了解したというよりは以下同文なのでコメントをしませんというふうにご理解いただければと思います。
1:25:14	すいません、次のページに行かせていただいて、
1:25:20	6-5。
1:25:24	ですけれども、
1:25:26	この
1:25:29	耐震評価設備、
1:25:32	というもノーの扱いで、
1:25:35	対応方針でも、新規制基準の一番最後の分類になってるんですけど、
1:25:43	これなんで最後なんでしたっけ。
1:25:48	はい、西田でございます。はい。もともとですね、
1:25:55	単純に他の要求事項いわゆる外傷のハザードみたいなものに対しての分類で出てくるもので、関連条文で耐震が出てくるものってのが多分そういう関連条文での耐震の紐づけをして整理することが、
1:26:12	ほとんどだろうと言いながら、実際それぞれを張りつけたときに、Ssが変わったことだけを要求事項としてとらえて見なきゃいけない設備があるんじゃないのかと。
1:26:25	いうことを、考えてもともと当耐震評価設備というものの項目を挙げて、そこで何等かをもう一度広いとは言わないですけど、その中で最後、
1:26:36	いろんなものを吸収できるという枠にしたかったということです。
1:26:40	ただこの地域性給料の変更方法の最後についていうことがどこかで、その分類を入れてそこでバスケットクローズでいきたいなと思ったところがもともとの発想でした。
1:26:53	ただとはいえ、
1:26:56	以前 8 日のヒアリングも含めてやりとりをした中で、

1:27:01	結局、残るのかどうかというのもよ、明確に対象設備が今出てるわけじゃないですし、特に残ったとしても波及みたいなものだとすると、
1:27:11	わざわざこれを品で説明するっていうよりは、他の設計要求のところの分類の中で説明しながら関連条文として上げていくっていうか、やり方も、
1:27:21	多分あるんじゃないかなということも含めて検討しようということになってたと記憶をしています。
1:27:31	規制庁補足です。今の説明からすると、この方針ではないような気がするんですけど。
1:27:43	何ですかね。
1:27:50	はい。もともとそうですね 8-6 の方ですよ、6-5 で。そうですね。これは多分正しくなくてですね。
1:28:01	結局は 6-23 が新たに出た項目でして、結局 6-5 でやりとりをしながら、この 13 が出てきた形になってるので、
1:28:15	先ほどの設計説明ぶりとか説明グループどうしていきますかナカノ一つではあるんですけど、6-13、
1:28:23	第 6-5 のやつをわざわざ上げる時が、新しく項目を起こして展開をしないとなあと思ってたところでした。はい。
1:28:33	6-13 じゃねえぞ。
1:28:35	なんだ、何だろう。
1:28:41	ちょっとだけ待ってください。
1:29:08	市町村すいませんイセ日本インハラでございます。63. 私が新しく起こそうと思った番号で行かしたやつじゃないので、失礼しました。
1:29:17	奥野ホウジョウ田井がおっしゃっていただいたように、この対応方針ではなくて、新たに多分、前回のコメントでいくと、
1:29:28	この派生であったのが、
1:29:33	燃料横転クレーンが確か等で対象になっていて、これ、単純にピンで起こす必要あるかねっていうやりとりをしたと思うので、それも含めて、全体の体系の中で整理をしていくと、ということかと思いますはい。
1:29:52	はい、尾崎です。
1:29:55	整理をしてください。
1:30:01	便で立てずに他の項目で、特に屋外であれば、外部衝撃関係、
1:30:09	国内であれば、内部
1:30:11	輸送関係ということで 1 人広げる。
1:30:15	形になるので、そこでの、

1:30:19	シモジョウ分にしてしまえば、整備作つとる。
1:30:24	どうかなっていうふうに思いますけど。
1:30:29	安心、
1:30:31	の
1:30:33	関係っていうのは、設備事項としては、データが高いものだと思いますんで、
1:30:40	スゲノに説明しますっていうところでは、あまり理屈づけができてないかなというふうには思っていて、
1:30:48	少なくとも外部衝撃なんかで出てくるものについては耐震もあわせて説明なんで、そうすると、
1:31:00	建物構築物、機器配管、それぞれ何らかも
1:31:05	評価の方針まで含めてその枠でも整理がついちやうようなところがあって、
1:31:13	ベース。
1:31:14	そうするとー。
1:31:19	そこで大事にちゃんと説明しますよというふうに打てば、
1:31:23	その中に入るものは入れていいです。入らないものっていうのがどうい うのがあり得るのかと。
1:31:30	ということで、それを説明するんですけどということがわかるようにしていただ くことが大事なかなというふうに思います。
1:31:39	はい、吉田でございます。ありがとうございます。はい。説明しないとい けない項目っていうのは、設備の関係も含めて、他の分類で前回やりと りがあったように出場分1個でなくても計画もあるので、そこも含めて整 理を進めます。
1:31:55	もう一つはすみませんこちらの書き方が非常に悪かったのは
1:32:01	ああいうのは、
1:32:03	一番最後について書いてるのが一番再説明グループとの関係の一番最 後にと言うつもりは多分なくてですね。
1:32:11	一番の一番下に書きたかった。
1:32:14	だと思うので、ちょっと言葉遣いが完全に誤解を生じるような気もするの で、最後っていう言葉を書く必要もなかったかなという気はします。は い。
1:32:24	一つの項目として起こすかどうかってところがちゃんと検討するというこ とだと思ってました。はい。

1:32:30	はい。補足です。わかりました当初の話からもうムシュでわあ、外部衝撃だったりそっちの方で説明をしたいと。
1:32:41	耐震の週で最初に説明しますっていうと全部になっちゃってっていうことがあって、それだと類家なんないんでっていうことだったかなあとと思いますんで、
1:32:52	それはそれで結構なんですけど、説明の仕方っていうのは気をつけていただきたいなと思ってます。で、ちょっと竜巻の方にも、
1:33:03	関連するようなことがあったのでお伝えをしておきたいのは、
1:33:09	何をやっぱり、
1:33:11	中心に説明すべきなのかっていうことを忘れないでいただきたいと思ってて、
1:33:16	竜巻のその分類の、
1:33:19	順番でいくと、
1:33:25	屋内に収納する。
1:33:28	施設。
1:33:29	建屋っていうのが一番先にボンと出てくる形になってたと思うんですけど、それってそもそももう竜巻で説明する中心人物だったっていう感じがするんですよ。
1:33:41	一番の中心人物が一番最後の対策設備っていうふうになってて、
1:33:46	何か
1:33:49	この項目を説明するんだっていう感じの順番になってないなと思ってるんですけど。
1:33:55	その辺りってどうしてけばいいですかね。
1:33:58	はい、ギリシャでございます。はいまずもってまず記載の仕方という意味で
1:34:06	あまり大層な意図がなかったケツクかと思えます基本設計方針で出てくる登場人物の順番に多分類並べただけかなという気もしますが、とはいえ今後は構造設計等をどう説明していくかということが、
1:34:21	目的ではあるので、その目的を考えたときに、どういうものが一番メインなのかということを念頭に置いて、
1:34:31	ご説明する時も、説明をしないとという気はします。はい。
1:34:38	はい。補足です。
1:34:40	わかりました。基本設計方針なりの整理の時には全体像をちゃんと漏れなく廣部ということから、
1:34:50	屋内屋外というような形だったりしていたんじゃないかなと。それで

1:34:56	スクリーニングをかけていきながら
1:35:00	いろいろ漏れのない対策を整理したということだと思うんですけど、今回の場合はそういう検討というよりは、
1:35:10	その内容の説明ということで、それを中心人物と、
1:35:14	いうことを意識して対応いただければと。
1:35:19	はい。与儀リーダーでございます。はい。ありがとうございますはい着手しました。
1:35:24	続いて6-7。
1:35:28	です。
1:35:33	これは
1:35:36	類似はしてますけど制御室の中に入れて
1:35:41	部材だという形で整理しますということ。
1:35:46	ではあるんですけど、
1:35:49	これも
1:35:51	設備としてどうなってるのか分類としてどうするのかとかっていう
1:35:56	和気ノロヘルパーグループ製造するのかとか、その部分の何かちよつとよくわからなくなってるような気もするんですけど。
1:36:04	この辺りはどうなってますかね。
1:36:13	はい。与儀西尾でございますはい。ここはもともと等、
1:36:20	今監視カメラを、
1:36:25	個別の項目で挙げていたところだと思うところですね、これも同じように、
1:36:35	そもそも可視カメラって何を説明するもんだっていうところの要求事項との関係を整理しないとイケない。
1:36:43	いう話になっていたと思います結局は制御室から出てる話なので先ほどの、
1:36:49	緊対制御室を、何を主軸にといった制御室の項目、要求事項の一つではあるので、
1:36:57	これを静養室と切り離して何らか説明できるかという条文要求としては同じ中に入っているもの。
1:37:04	なので、資料2、資料3でどう展開するかって考えたときには、
1:37:09	ピンで立てておく意味というのがあまりないかなとはいえ、これ要求事項を考えたとき、外に置くもので、何らか環境条件にも耐えなきゃいけないとかいろんな要求事項との絡みもあると思うので、

1:37:22	その説明も含めて、制御室緊対制御室を先ほど合体させて項目を起こすかどうかということを考えますと言いましたけど、
1:37:33	そこで説明するのか
1:37:36	防護対象棟みたいな中であわせて説明していくのか、要求に対しての設計との関係も含めて、分類を整理する必要があるかなと思ってます。
1:37:53	はい。補足です。わかりました。
1:37:58	結局機能としては、制御室をまとめて説明するっていうのは、全くもって異論がないんですけど、屋外設置の設備でしかも、
1:38:11	機能要求として、
1:38:14	その維持管理っていうのも結構肝になるような機器なので、それをどういうふうに説明していくのかと、いうようなこともあるんだろうなと思ってます。
1:38:26	これ丹。
1:38:27	便で説明しなくても他の項目で外部衝撃で説明ができていて、
1:38:33	それと同じなので以下同文ですっていうことでこちらの分類に入っても大丈夫だよと。
1:38:40	いうことであればそれでいいと思うんですけど、そういった説明項目、漏れのないようにっていうことで整理を進めてください。
1:38:50	はい。乳井ニシダでございます。はい。そういたしましたおっしゃっていただいたり、設計分類をくった時に説明しなきゃいけない項目が抜けてしまっは意味がないので、そこ抜け漏れなく整理をして、
1:39:05	資料2の段階で代表との関係どちらかに紐づける場合には、その中の説明と同じですということになるかもしれませんが、とはいえ抜け漏れがないようにということで展開をしていきます。はい。
1:39:24	うん。
1:39:26	はい規制庁、迫です。
1:39:29	この後、
1:39:35	もうわかっているっていうことにはなっていきますけど、
1:39:41	項4は、普段、私からはコメントがないので、
1:39:48	他に、規制庁側からあればいい。
1:40:09	よろしいですか。そうしますと、次のページ、
1:40:20	まず(5)で全般とコメントリスト関係と、
1:40:28	ということですけど。
1:40:30	4の一井ですね。
1:40:39	これはコメントリスト4名オクの整理を踏まえてと。

1:40:46	いうことになって、
1:40:48	てますけどう。
1:40:53	ふうん。
1:40:56	藤。
1:41:02	これは、
1:41:05	どう、どう、
1:41:08	いう対応になるのは、
1:41:11	もともとコメントリスト 3-1 っていうことでその上で、対応が終了したものとされてい。
1:41:18	いることを受けてだったりもするんですけど、どういう関係につき、説明いただけますか。
1:41:30	はい、日本イシハラでございます。
1:41:34	はい。今ひとつこの 4-1 で書いてるコメントが、医療費わかりづらくて、7、
1:41:45	もともとはこの 3-1 に書いていた資料、
1:41:52	それぞれの資料で展開する内容、ひもづける内容はですね、
1:41:58	例えば、下から 4 行目ぐらいで入ってるグローボックス耐震設計の温度が上がってくっていわゆる、
1:42:07	耐震にかなり内容が取り過ぎて全体でやらなきゃいけないことがわからなくなっているんじゃないのかと、というような、
1:42:17	コメントでした。結局はそれぞれの条文に対してのインとアウトの関係をちゃんと整理をして、関連条文ってどういうのを紐付けていっていかってという整理をしっかりとしないといけない。
1:42:31	インとアウトの関係も何が何と紐づいているかというのを整理をしないといけないということの対応が、全体で図られるべきだということで 4-6 に預けた形になってます。
1:42:42	あとはちょっと審査会合の資料のところ(1)なので、場所が非常によくないなということと 3-1 がハッチングされて終わってるような感じになってるけどちょっと新しいコメントが、
1:42:56	これで発生したということで、しっかりとコメントとして位置付けた上で対応方針を書くという形にしないといけなかったか。
1:43:09	A規制庁コサクです。わかりました。
1:43:13	結局あれですね 4-6 だったりで整理していてそれをやればいいと思っているのにまた出てきてるっていうのはやはり元の資料の、

1:43:24	意識が強くてということだったと理解をしました。その点はそれだと、やっぱりタスクを出しますよねという最初の話のポイントになったという。
1:43:36	dからしましたので次回はなくなるんだと思いますからよろしくお願いします
1:43:46	はい。弓削者でございますはい。
1:43:50	越智さん、いただいてと思います。全体の対応方針、次に、
1:44:03	はい。
1:44:07	規制庁補足です。
1:44:10	その意味だと(5)はあまり
1:44:14	話してもしょうがない部分もあるかと思います。衛藤。何かほかに規制庁ありますか。
1:44:25	なければ、次、2 ポツ資料 1 に関係してということのリストに行って、
1:44:36	このページの中では規制庁側からあればお話お願いします。
1:44:51	ありませんか。じゃ、次のページ。
1:44:56	いかがでしょうか。
1:45:19	なければその次のページに、
1:45:31	資料になってますかね。
1:45:34	病院に関する面等で、
1:45:47	はい。
1:45:49	そうしたら、
1:45:51	9 ページ、4 ポツの資料 3 に関する、
1:45:56	いうところに入りたいと思います。
1:45:59	ここでは
1:46:02	とですね。
1:46:04	1-20、
1:46:06	前の 6 月 28 日、
1:46:10	同ヒアリングでの話になってますけど、
1:46:24	横野。
1:46:31	これまずですね、
1:46:34	資料 3 に関するコメントっていう、
1:46:37	この中対応方針資料 2 と資料 3、
1:46:40	分かれているんですけど、
1:46:44	これはどういう整理をしてるのかっていうのを説明いただけますか。

1:46:56	ああいう印象でございます。はい。これも知っていただいて、資料 2 とか資料 3 の個別の項目の記載に対してのやりとりを、個別に起こした結果こうなってますが、
1:47:13	おそらく資料に資料 3 てのセットでどうしていくかと、いうことを考えた時にはこれ一先ほどの対応方針を、ある種グルーピングしていく中で、
1:47:24	合わせて、整理をしていかないといけないものがあると思ってます。もともとは、冒頭おっしゃったように個別の資料の個別のある枠に対するコメントを、
1:47:37	それぞれ抜き出してますのでこういう形になってますが、次の時には多分、これを見直していかないといけないということが現状認識でございます。
1:47:53	はい、久保です。わかりました。
1:47:58	改めてコメントの方を見て振り返る等搬送設備の扱いだったり、
1:48:04	いろいろなその設備、複数の設備があって、説明分類にどの関連もあってと。
1:48:11	というようなことでの議論と、コメントの最後では 2-2 との関係含めて 2-1 っていうことでの整理等、幾つか話が、
1:48:22	あってですね、そう、幾つかあったやつがちゃんと分解しきれていない感じになってるかなと。
1:48:29	思いますので、
1:48:32	これにしているピックアップされてますので、そういった点ではちゃんと整理をしてですね、やらなきゃいけないことというところ。
1:48:44	いずれにしてもですね、やらなきゃいけないという整理をしていただいたらいいかと思います。
1:48:49	はい、西田でございます。はい、ありがとうございます。はい。
1:48:54	それぞれの資料とか絞り紐付けだったり資料か海野先生も含めて、全体としてどういう整理をしなければいけないかっていうのを、整理しっかりと、
1:49:05	整えていきたいと思いますが、現時点では、一つ一つ、言っちゃいけないんですよ、指摘されたものを、いいよ。
1:49:15	だから、分解をしてやっていますので、対応しなきゃいけない項目自体が抜けはないと思ってますけど、方針としてまとめる時、さらに抜け漏れがないようにということの性格も含めて、
1:49:26	やっていきたいと思います。はい。

1:49:30	規制庁不足です。今の項目だと漏れがある形の方針になっちゃってるんですね、ここで言うと。
1:49:36	ただ、全体で見ればは、
1:49:39	ここでコメントしてあるものっていうのは他でも指摘が、コメントがしてあり、対応としては、タスクとしては立ち上がってるっていう項目だと思うんで、
1:49:52	ああいう漏れはないと思うんですけど、その点では、あの方、
1:49:59	リスト低角とちょっとこういう形でやるとどんどんと
1:50:04	細かく詰めていかなきゃいけなくなっちゃうよっていうことなので、最初に言ったように整理をしていただいて、その上で、
1:50:13	我々が言ったからその部分潰し込むとかっていう作業はあんまりそんなに一生懸命してもらわなくても、逆に我々は例示でコメントしているだけなので、
1:50:23	整理をした方針のもとで、一色ちゃんと見ていくと。
1:50:28	いうことに注力してやっていただきたいなと思ってますけど、大丈夫ですよね。
1:50:35	はい。
1:50:36	イギリスでございます。はい、承知しておりますはい。
1:50:40	はい規制庁コサクですよろしく申し上げます。続いて4-161057というふうに、よくわからない順番で並んでるんですけど、これは何ででしょう。
1:51:05	そうですね、何年後に入った。
1:51:10	はい、西原でございます。はい。令和ももとは、
1:51:17	すごい。
1:51:22	なんでこの日使ったんだろう。
1:51:26	これも指摘個別個別にとらえてやった結果こうなってしまうてかつ入ってればそのまたよくわからない場所入ってるので、
1:51:37	まずは、資料3で、資料2を受けて資料3側での個別の設計設計部ルート的设计をどう整理していきますか。
1:51:50	特に資料3の②ですね、この図を展開すべき図、どういうことを説明していくかっていう大枠の目次なりを示して道筋を示した上で具体を展開していくと。
1:52:03	いうことをやっていこうというのが一つの、共通12としてどういう説明の仕方をしていくかの大枠の方針ではあると思うので、

1:52:12	資料3というのは全体に対しての更新、構成としてどうしていくかという中で、合わせて検討ができればと思ってました。はい。
1:52:24	はい。0。
1:52:26	規制庁不足です。
1:52:30	そうですね。で、しかも方針もですね目次構成を見直すって言われる等、どういう見直し方をするんだとかっていうのもよくわからなくて、
1:52:40	何も認識共有になってないんじゃないかなと思うんですよ。
1:52:45	ここ細かく改めて言いませんけど、
1:52:50	リスク、少なくともイシハラさんは認識されてると思うんで、
1:52:54	そういったところがちゃんと共有できるように、書き下していくっていうこと等を、メモをする際にですね気をつけていただきたいと思いますが、これを石原さんにわかりましたと言ってもらっても、
1:53:10	何も変わっていかないような気もするんですけど。
1:53:14	大丈夫ですか、どう、現状どうなってます。
1:53:19	はい。乳井ニシダでございます。これを私がわかりましたっていうと皆がわかってるかどうかわからん
1:53:27	前日も9Gのところでのやりとりもそうですけど実際はある種、資料の形態全体の繋がりがあっていきなり目次新しい項目出しをしたりと、
1:53:41	いうところがあつたところが繋がりが無いとか、なんでここでこれがいきなり出てくるんだっていう話だと思うので前回の出た資料3の②いけば、シュシュ事業は閉じ込めると言えば閉じ込めの
1:53:57	資料3の①ですかねどういう説明だて構成立てをして説明していくかが一つのキックになるのかなと思ってます。
1:54:07	そこも含めて、全体の構成を決めていくのかな。
1:54:13	いうふうには思ってますんでそれはグローブボックスの閉じ込めは歓迎があつて、岩体のところについて今度とかの話があり、その後に附属品でついてくる。
1:54:25	吸気排気の管台の話があつたり、ベローズの話があつたりという個別の点、パーツパーツの展開を大枠をした上で、個別の展開をしていくそれも、
1:54:37	所たる構造物から順番に
1:54:40	元とは言わないですけど個別の細かいところにパートに流れていくっていう、展開をしているので、そういった構造設計の基本的な考え方に沿って、

1:54:51	全体を組み立てていくっていう繋がりを持って説明できるようにできればなと思ってました。
1:54:59	はい。過不足です。今言われたようなことを端的に記載方針としてまとめるっていうのがここでの対応方針での
1:55:10	対応だったんじゃないかなというふうに思います。
1:55:16	と今後の対応方針の整理もそうですしAAA共通 12 の本文での資料 3 の記載方針ということにもなってくると思うんで整理をしておいてください。
1:55:30	はい、二本木西浦でございますはい。承知いたしました。
1:55:34	今後そっちへは、
1:55:38	普通に本、
1:55:40	僕、
1:55:41	オープンと言うことになってくるので、
1:55:44	神谷さんどうぞ。
1:55:47	はい、上出です。
1:55:49	今の話
1:55:52	1、例示としてわかんないので聞くんですけど、窓枠分とかステンレスパネルってこう使い分けてるんじゃないですか。それも何てなのかなっていうのがよくわからない。
1:56:04	けど、こういう部分は、窓枠こういうプレゼンはステンレスみたいなところが目的と相まって、あると思うんですけど。
1:56:15	ちなみにまずそこだけ何か説明しますか。
1:56:25	はい。二本木ニシダでございます。グローブボックス基本道具っていうのはポートがついてる部分でグループがつくっていうのが前提で話をさせていただけました。
1:56:37	この惑いタブーにするか、ステンレスパネルにするかは実際ナカノ装置の配置とかも含めて人が操作なり何なりをしなければいけないかどうか。
1:56:48	全体のグローブボックスの中で、その窓関係要はグループがついた形にするか単純にステンレスパネルわかるかと、いうことで仕分けをしました。
1:57:01	はい、規制庁紙です。その辺はだから、中に何が入っているかっていうことと、基本的には多分、安全性だけ。
1:57:12	考えれば多分ステンレスパネルの方がいいから、窓枠にしなければいけない部分はステンレスパネルっていうことだと思うんですけど見てる限りは、

1:57:22	そういう思想も説明してもらえるといいのかなと。
1:57:28	はい、乳井西田でございます。はい。集計いたしましたはおっしゃっていただいている通りだと思います私も最初に同じことを聞きました。はい。そういうことが基本的な考え方として設計コンセプトで、
1:57:41	しっかりと語られるべきだと思います。はい。整理をして記載を確認していきたいと思います。
1:57:47	はい。規制庁神です。私からは以上です。
1:57:53	規制庁コサクです。確か、資料3の最初の方にはその全体像として、どうしてそういう構成にしているのかと。
1:58:02	いうことを語るようなものがあるそれを踏まえて、ここの部材について、より具体的に他の条文とかの対応も含めて説明をしていくという構成だったんじゃないかなと思いますので、
1:58:17	その点で、
1:58:19	適切な場所で説明をしていただければというふうに思います。
1:58:25	規制庁国分です。
1:58:27	2時間経っちゃいましたけど、あと耐震の部分だけですかね。
1:58:34	なんで、ここで細かく言ってもしょうがない部分はあるんで、ざっとだけ話をして休憩に入ればと思いますけどよろしいですか。
1:58:46	はい。弓削ニシダでございます。はい。よろしく申し上げます。
1:58:55	はい。規制庁補足です。まず、1-21。
1:59:01	です。
1:59:05	ホデNo.の4の18号の293235と。
1:59:11	呼び込んでますけど、それらで行っている対応方針と、
1:59:20	いうこと。
1:59:22	対応スルー。
1:59:25	外で本当に全部担当整理できるのかというようなことなんですが、
1:59:32	先ほども言ったように、評価の関係とかも含めてですね、
1:59:41	上流、単純に資料2で上流で整理をして落とし込めばいいということで、資料にちゃんとピックアップできるのかということそういうわけでもないので、
1:59:51	やはりボトムアップで考えることっていうのは大事だと思ってるんですけどそのあたりどうですかね。
2:00:02	はい。乳井ニシダでございます。はい。一つは、こちらの、
2:00:09	対応方針の書き方が若干短絡的だったかなと思ってます。

2:00:15	前回もお話したのは整理としてはボトムアップで整理をしていく、あか見せ方をどうするかってところで常任委員会の2-1、2-2の線引きをしようと思うと、上流側から持ってきて、受理部分での、
2:00:30	徹底としてやるべきところを、資料3で、一条新居さん、予算化、D、評価、2-2に関わる部分は、資料4という方も作って、そこで展開をするという、住み分けかなという。
2:00:45	話はしてましたけどボトムアップで整理をすることを全くやめたわけではなくて、Aは多分積み上げていかないと駄目だと思うので、そういったところは残しつつ、
2:00:55	本文での構成の見せ方とか整理の仕方をどうするかってところかと思ってました。
2:01:02	規制庁細木です。わかりました。それで言うとやっぱりあれですよ。
2:01:07	アベ重なったという発言がありますけど、どうしても記載をどうするかっていうことに意識が向いちゃってて作業をどうするかになってないという。
2:01:15	ところが原燃の根本的な何か思想の問題点なような気がします。
2:01:24	資料としては確か2アノ状況から流れた形に変えていただかないと、こちらとしては読み込めなくて、先ほども言ったように資料2でじゃあどを表すのかというようなことになるんで、
2:01:35	その作業方針を整理いただいた上でということだと思ってるのでまず資料の整理という意味では理解をしました。
2:01:43	一方作業としてはしっかりとボトムアップの検討をしていただかなきゃいけないので、その点のプロセスっていうのもやっぱりそのスキームの中では、この方針、
2:01:53	対応方針の中では明確にさせていただいて、
2:01:59	作業と、資料とっていうのは切り分けて
2:02:02	両方とも、説明いただければというふうに思います。
2:02:08	はい。日本イシダでございます。はい。それで実際対応方針を元にみんなで議論して、実際物を作っていくときに、
2:02:18	どういった作業をしていくのかっていうのもより舞台に展開をしていかないといけないところもありますので、作業としてやるべきこと、あと資料として、どう整理をしていくかということ、検討案件で、誤解がないようにということから、具体的に、
2:02:36	展開をしていくということが必要かと思っておりますので、引き続き、対応が具体的になるように努めていく。

2:02:46	規制庁、古作です。次の 2-8 については
2:02:51	これも言葉でだけた部分もあるので先ほどの方で整理できると思うんですけど、
2:02:58	設計プロセス条件って変な言葉を使っちゃってて全くよくわからなくなってるんですね。で、経験を見ていこうアノ評価プロセスであるものについて設計プロセスと称しちゃっているんで、
2:03:10	それによって、評価条件についてを設定する際に設計で考慮することって、 いうのをピックアップしますと、
2:03:18	ということが、表現としてわからなく、逆にわからなくなっちゃってるっていうことのような気がするんですよ。
2:03:25	これもボトムアップとトップダウン度というようなことの中言葉も整理をされていくんじゃないかなとは思いますが、
2:03:35	お気をつけくださいということなんですが、ご理解いただけてますか。
2:03:39	はい。日本原燃石野でございます。はい。いろいろと言葉を作って、その言葉がよくわからなくなってきたところもあるので、
2:03:48	今おっしゃっているように、経営耐震計算の計算書の作成方針みたいで事実、2、が基本的にここの条件設定とかやり方なんかは 2-2 だと思いつつ、間仕切りしてやろうとした時、ここに
2:04:03	設計プロセス条件みたいな名前をつけたのが、
2:04:06	最初の失敗だったかなと思います
2:04:09	ボトムアップで整理をしながらニノイチとしてやることっていうのは何なのかと、いうことはしっかりと設計方針の中で展開をして提示をされるべきものだと思いますので、
2:04:21	新たな言葉を聞くと例えば、設計としてやるべきことってのを整理をして、それを資料 2 資料 3 でしっかりと展開していくと。
2:04:31	いう流れを切り、作っていければなと思います。はい。
2:04:37	はい。補足です。ちょっと耐震関係は一通りざっとっていうことで、気になったところでの例示をお伝えをしたいと思うんですけど。
2:04:47	ですね、1-29。
2:04:53	あれどこだ。
2:04:59	12 ページの上から三つ目ですね。
2:05:03	それで、先ほどから言っているようなところを、対応方針の中では、解析モデルの設定のために特別に考慮した。
2:05:13	構造設計というような形で表現されているんですけど、

2:05:17	ここで言われてるのはグローブボックスの内装機器がどうなってるのかと、ということなんですけど。
2:05:26	これわあ、
2:05:27	私としては、どの位置にどういう固定の仕方をするのかっていうのは、設計上、
2:05:36	特別に考慮したことだと思っていたんですけど、
2:05:39	これは特別ではなくて一般的ですって言われてしまうと、
2:05:45	じゃあ何説明すんだよっていう感じがするんですけどどういう考えですか。
2:05:50	はい。入社でございます。はい。ここもかなり一足飛び度飛んでるわけわからんこと言ってしまったのでちょっと訂正をしたいと思います。はい。
2:05:59	おっしゃっていただいてグローブボックスの中の内装機器ですね。これの設計ってグローブボックスと設計と相互関係があった上で、
2:06:08	それぞれを考慮しながら設計をしていく。特に主治医をどうしていくかというところは、グローブボックスの設計とも関係する部分だと思いますので、
2:06:19	そういった後の構造設計上、特別に配慮が必要な事項というのは、当然内装機器側グローブボックスの関係で特別に考慮しなきゃいけない事項が当然あるはずですので、そこをしっかりと2-1の中で説明をしていくと。
2:06:35	ということかと思ってます。はい。
2:06:40	はい。補足ですよろしくお願ひします。どうもこの部分は、
2:06:45	A評価せえなんだっけ。
2:06:51	設計プロセス条件とかって、やっぱり評価に偏って意識をしちゃってるために、評価で別に淡々とやってるんだから設計だって淡々とって思っちゃってるっていう感じがしてですね。
2:07:05	ちゃんと
2:07:07	構造として考えてることっていうのを説明するんだっていう意識を持って整理をしていただきたいなど。
2:07:13	いうところですよ。
2:07:17	はい、泉谷でございます。ありがとうございます。はい。ちょっとどうしても、そうですね、2-2の話が出たときに設定として説明しないといけないことっていうのは大分、

2:07:28	ニイタニとの関係だけになんかとらわれていってしまって、構造としてそもそも説明しなきゃいけないことが、よくわかんなくなってるところもあるので、まずちゃんとそれぞれの構造をしっかりと説明するんだと言った地域になったときに、
2:07:43	説明しなきゃいけないことも抜け漏れなくAということをやらないといけないと思いますのでそこをしっかりとやっていくということだと思います。はい。
2:07:55	はい。規制庁不足です。その観点だと、次の次になる。一部 31 位で防火シャッターなしがあって、
2:08:05	防火シャッターっていうことと、防火シャッターのフレームっていうのが違うことなのかもしれませんが、
2:08:14	そのあたり
2:08:16	もう、
2:08:17	この対応方針だけだとよくわからないんですが、
2:08:23	その辺りはちゃんと説明をしてどういう形で閉じ込め性能については維持をし、
2:08:29	どういう関係で波及影響を与えないということになるのかと、いうことは、順次説明をしていく方針だということで大丈夫ですよ。
2:08:42	はい。乳井ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りで防火下がったを取り付けてグローブボックスの閉じ込めを維持するフレームとの関係、あとそれに対する等衝突等の波及影響を及ぼさない、どういう構造になってるか。
2:09:00	いうことも、それぞれちゃんと分類の小分けの分けてですね、適切に設計を説明していくということで、整理をさせていただければと思います。はい。
2:09:18	はい。規制庁登坂です。詳細はあまり言わない方がいいと思うんですけど、ここで、
2:09:25	落下転倒しないための措置を講じた構造についてっていうのは具体的に構造をこういう形で転倒しないようにですね、構造設計の内容を説明されるということでいいですか。
2:09:38	はい。与儀西尾でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。これは通常、物がシノザキは閉状態というものが取る時開状態にしますけど、

2:09:48	それらの状態で、ロック機構だったりふる止だったりいろんな構造がありますんで、それをちゃんとブレークして説明をしようということで考えてました。
2:10:00	はい。規制庁、蘇武です。よろしくお願いします。その下、1-23 にいきますと、これも
2:10:09	特別考慮した設計ではないと言ってるんですけど、寸法っていうのは構造の一番大事なもので、仕様表でも買い済んだには書いてあるということなんですけどこれはどういうことですか。
2:10:24	はい。日本原燃板谷でございますはいこれも、
2:10:28	先ほどの話じゃないですけど2-2と2-1の線引きということを考えてときに、先方みたいなものがここ構造設計としてちゃんと説明しないといけないものだっていう立ち位置よりも、2-2で説明する条件みたいなものとの関係だけを
2:10:46	照明で整理をしてしまった結果が今の対応方針になっていると思ってます。
2:10:52	おっしゃっていただいたように構造設計のアウトプットになるのがまさしく寸法だと思ってますので、かつ、いわゆるグローブボックスの構造からいきますと、人が、
2:11:07	操作をするために手を突っ込むとするとグローブボックスの寸法外寸だけでもカバーは、当然人の手を広げて届く範囲にしないといけないとかいろんな制約もあって閉じ込め閉じ込めじゃないな。
2:11:22	グローボックスとしての要求からの先方への影響というのもありますし、そもそもの設定として、最終形態で出てくる情報としての寸法というのもありますし、
2:11:32	そういったものを、構造設計として説明する項目だと認識をして整理をする必要があるかなと思ってました。
2:11:39	その辺の整理を進めていければと思います。
2:11:44	はい。コサクです。わかりました。その点では今回の対応方針の言葉じりについては、もう気しないということにして、しっかりと
2:11:57	考慮していることっていうのを漏れのないような形にしていきたいと。
2:12:03	思います。
2:12:05	その点ではやっぱり耐震から繋がってくるのわあ7Gがどこでどういうふうになっているのかという古藤につけると思うんですけど。

2:12:16	それでいうと、1-30 なり 3-9 だつたりのところで拘束条件というのが書かれていますけど、これも特別な考慮がなくというふうに言われちゃって、
2:12:31	大丈夫かなっていうところありますけど。
2:12:35	はい。はい。日本原燃市田でございます背弧まあまあ。
2:12:38	おっしゃっていただいて、CDとか固定の方法そのものだと思うので、その設計上の考慮っていうのを担当考えて、説明をしていくということをして
2:12:49	していかないといけないと思います。それを結果として拘束条件に使ってるといっただけだと思いますけど
2:12:56	構造設計に立ったときに説明しないといけないことをちゃんと説明しないといけないんだと、いうことのタテウチでまず整理をしていくんだと思います。はい。
2:13:05	どうしても2と2-2との条件設定との関係を整理しようしようとする、
2:13:11	回答に書いてある通りそっち寄りになってしまってそもそも構造設計として説明しないといけないことって何だっけっていうのが抜けてしまう可能性がある、そこでちょっとタテウチを決めて、整理をしていければと思います。はい。
2:13:27	はい。補足です。
2:13:29	どちら側の視点でも構わないは構わないんですけど、支持点をどこに置くのかっていうのは耐震上どういうふうに揺れるのか、それを抑えるようにどう押さえたらいのかと。
2:13:42	いうことで一応決めてるんだと思いますし、その際に、どういう固定方法にするのかという時にピン支持になるようにした方がいいのか。
2:13:53	完全固定にした方がいいのか、それによってどこに応力が発生するから、どうした方がいいのかというようなことは、いろいろと考えておられるんだと思うんで、それは、
2:14:04	評価にも表れるし、設計でそもそもできるやってることで、私っていうことではあるんですけど、どちらの断面でもいいんでしっかりと抽出して説明できるようにしていただければと思います。こちらとしては
2:14:18	そういうことを説明するんだっていう方針が示され、実際の資料3でよければ、それで問題ないかなと思うので、作業プロセスはどちらからどう攻められても構いません。
2:14:31	そういうことで、お客さんでやっぱ、しっかりと整理してください。
2:14:41	はい。宮城西浦でございます。はい。承知いたしました。

2:14:46	規制庁細田です。ちょっと短信の方は急ぎで私から大枠だけお話ししましたけど、
2:14:51	他、規制庁から言っておきたいことあればどうぞ。
2:14:57	規制庁紙でですね、一応確認なんですけど2-2で説明しますとって、
2:15:03	ものについて、資料4みたいな本を作るんだと思うんですけどまずは、資料2のところ上流の基本方針があり、それに基づき、2-1、資料3で説明するのは、この
2:15:18	評価として説明するなどしてですねこういうことですかっていうのは資料2でまず仕分けなんですか。
2:15:26	はい、日本インダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りで資料2では複数の設計説明分類が絡んだりしますが構造設計等の2-1でやること等2-2の評価の話の、
2:15:40	関係性は資料2の段階で大枠になりますけど、その関係性がわかるように、基本設計をシートとひもづけはします。
2:15:48	具体的な設計の内容とそれを基にして評価にどう預けていっていかってところになると、資料3でその部隊が紐づけられるということかと思ってました。
2:16:01	はい、わかりました。なおかつその資料にも上流からちゃんと整理するってことであれば、今のCGの話が、
2:16:11	2-1が抜けてましたけど機器の市場方針なんかでグローボックスこんな感じで抑えますということも書いてあるので、そういうふうに行くと、抜け漏れなく、
2:16:26	説明できるのかなと思いますのでよろしくお願ひしますということをする。あと、今もらっている資料にその情報をさらに追加されても、なかなか見にくいと思うんですけど、何か工夫できそうですか。
2:16:48	はい。弓削イシハラでございます。
2:16:51	金谷。まず根本的に
2:16:55	見て欲しくないのかっていうぐらい字がちっちゃいので、それを改善しないといけないと思ってないこと、やっぱこれ以上横井枠を広げるともうわけがわからなくなるので、
2:17:05	もう見てくれもよくないですっていうのはちょっと工夫は、もうちょっと考えます。はい。今の時点でもすでにラインをどう見たら見
2:17:15	下が見えるんだぐらいの勢いになってますのでちょっとやり方を考えたいと思いました。はい。

2:17:21	はい、規制庁深見ですよろしく申し上げます。イメージとして、方針があつて、これはニノイチプランにおいて上下にあつて云々見える指標になるんだろうなと思いつつ、今もらってるやつでやられると、もう拡大拡大で、
2:17:38	全然横の関係が見えないので、まずはデータで作ってみるってことなのかもしれないですけど、ちょっと
2:17:47	見やすさっていうところを気にしてもらえればと思います。私から以上です。
2:17:58	規制庁山口です耐震も含めて全体通して、コメント対応方針の資料について規制庁側からも確認ありますでしょうか。
2:18:12	よろしければ、原燃側も特に追加での説明よろしいでしょうか。はい。玄西田でございます特にございません。はい。それではここで一旦十分の休憩を挟んで休憩後に振り返りをしたいと思います。
2:18:31	はい。それでは
2:18:34	16時。
2:18:36	会で指導録音します。
0:00:00	ところを開始しました。それで振り返りの方お願いします。
0:00:06	はい。宮城ニシウラでございます。はい。
0:00:11	対応方針が
0:00:15	私がヒアリングでしゃべったことも含めて明確になりうるということで、
0:00:21	ここ、今回のやつです①、②は、こういうことでやりとりをさせていただきますといったものをそのまま、ある程度対応方針としてダイレクトに書くパターンで、③番以降はどちらかというやりとりの中で、
0:00:37	ご指摘をいただいたものに対して矢印でこう対応するという各パターンにしています。
0:00:44	医師会はどちらかという0102みたいな書きの方がいいような気もしますが今回今来させてみましたというのが状況でございます。
0:00:54	①番でございますが振り替えのやり方でございます。
0:00:59	まず基本はヒアリングの中で不利かの種対応方針も含めて確認をさせていただくと。
0:01:07	まだ対応方針が社内で整理する必要がある場合には後日コメントリストという形で提出方法、
0:01:14	ということ併用またはどちらかのパターンになるかもしれませんが、対応していきたいと思います。

0:01:22	あとは対応方針を具体化すること市場の対応者振替を済ませるということと間違っただ対応なりなさないようにということで、事前に方向性を定めていくと。
0:01:32	いうことができればと思ってます。
0:01:35	はい。②番ですが②番も同じですね対応方針のところ個別のコメントをしていただいて、
0:01:46	それぞれ項目を変えていくと、バッチあてになる可能性もあるので、整備の方向性であったりして、どういうふうに整理をしていくかということを考える上で、
0:01:56	必要な対応すべき対象ごとに分類をして対応方針を整理していくということかと思ってます。
0:02:02	はい。また、先ほどやりとりがあった内容です。
0:02:14	あ、ごめんなさい、規制庁不足です。ちょっと
0:02:19	②まで話してるのがまだ十分認識できてないかなと思うところで、一番懸念してたことを申し上げますと、
0:02:29	丸一井の最初終了修正につなげるためっていうのは、資料ではないということ。
0:02:35	うん。認識してくださいということをお伝えしたのが、やはりどうしても資料を直したいという意識が表れてしまってるなというところです。
0:02:47	資料の資金が流れてしまって、
0:02:52	その後の対応につなげるためということ。
0:02:56	或いは、原燃内での作業につなげるということ。
0:03:01	担当にしてください。
0:03:15	ル2についても同じ趣旨なんですけど、資料の方向性を定めたっていうのは、
0:03:23	よくわからなくて、
0:03:33	何を、
0:03:39	やらなきゃいけないのかいまいちよくわかんないんですけど、一番わあ、やるべきことが何かという、やるべきことは何かというところちょっと語弊あるかな。
0:03:48	目的が何かっていうことを明確にする、認識をするっていうことが
0:03:53	基本的には大事で、
0:03:55	そのためにこういうことをやっていきたいと思いますっていう。
0:03:58	ところの認識がないんじゃないかなっていう気はしますけど。
0:04:03	そういったことを言いたいんですかね。

0:04:05	はい。乳井ニシナでございます。合言葉、恐縮です。
0:04:10	はい。
0:04:11	やらなきゃいけないことの目的がをしっかりと定めるということ。これは
0:04:19	どちらかという、我々がやるべきことなのかもしれません。それを達成するためにどう、
0:04:28	進め方を、どう、
0:04:40	設定にしていけばいいの、
0:04:45	明確になるようにということで、もうそれにみあったものを、の整理になる。していかないと、
0:05:00	規制庁発足です。
0:05:03	今言われたことが文面では表れていないですけど、
0:05:09	どう対応されてます。
0:05:19	拘束ですけど②の話をしてるつもりで書かれてるのはなぜでしょう。
0:10:13	音声とか、通信で繋がってますか。
0:10:17	はい。規制庁山口です。今、
0:10:20	はい。発言
0:10:23	はい。
0:10:23	2 ヤギ社でございます。主巻。
0:10:28	を整理をしてみましたというのが現状でございます。
0:10:33	規制庁コサクです。
0:10:36	目的を明確にして実施する内容を整理をしていくと、これまでと実施する内容だけを変えていて、何のためにやるの、
0:10:50	それはそうしていただくんですけど、先ほど書いていた
0:11:00	言われたこと一つ一つ、五月雨に書くのではなくて、
0:11:05	内容に応じてしっかりと求めていくんだって言ったことが見えちゃったようにも見えるんですけど。
0:11:13	そこはどうなってますか、①の中で見れない気もするんですけど、そうですね
0:11:21	対応方針を整理する、マダムT.
0:11:26	項目ごとに、
0:11:30	目的じゃないなあ。あれ。
0:11:37	目的を踏まえて対応方針をグルーピングしてっていうのは、置いとかないといけないと思うので、

0:11:51	そこに書きちゃ駄目だと、これ。
0:11:55	いっか。
0:12:00	うん。
0:12:02	駄目な気がするなあ。
0:12:09	対応方針の整理にあたっては、体制、対応すべき対象ごとに、
0:12:15	類して、
0:12:35	どれか。
0:12:53	表現ぶりだけだとは思んですけど、大正琴っていう対象って何ですか。
0:13:00	はい。ミギタね大正琴だとた資料に偏っちゃう可能性もありますね。
0:13:07	連携、ろう、
0:13:14	多分対応としての目的なんかに沿った分類をするってことだと思うんですけど、ちょっと対象と書きちゃうと、どちらかというと、また、
0:13:26	資料とか資料の中の項目 1 個とか、そういう話になりそうな気もするので、誤解がないようにはしたいと思いますはい。
0:13:38	はい。不足です。
0:13:42	ので、目的ごともちょっと厳しい気はします。
0:13:54	有すべき目的を踏まえて、対応の単位、
0:14:02	を念頭にぐらいにしといてもらったらいい。
0:14:14	はい。
0:14:28	明確にしじゃなくて、念頭に、
0:14:49	先ほど対応すべき対応点なんですけど、対応すべき目的、
0:14:56	云々って私言ったような気がする。
0:15:00	これ、劇を踏まえ、
0:15:03	必要で多分、
0:15:05	うん。
0:15:10	いや、これ消しちゃったんですけど、はめい対応の体を念頭に、
0:15:18	分類、
0:15:20	して、整理するかね。
0:15:31	古作です。
0:15:35	今タイピングしている人に自分の理解を説明してもらってもいいですか。
0:16:05	あれ、六ヶ所聞こえてます。
0:16:08	はい日本原燃山田です。②の対応が、
0:16:14	対応として、

0:16:17	最初に設計説明文の設定とかタスクごとに
0:16:21	いただいた指摘に対して方針を、どういう方針で、発生していくかっていうのを作業として、
0:16:28	まとめていくってことだと、②は思ってます。以上です。
0:16:34	コサクですそれで言うとタスクって何。
0:16:43	どういう対応。
0:16:46	そうですねちょっとどうまとめていくかっていうところあるかもしれませんが、最後例えば再処理ノダと設計再処理施設としての設計説明分類を入れるという、
0:16:59	目標に対して必要な
0:17:02	アクションっていうんですかね、1個1個の、それに達成するための一つ一つのワークがあると思うんでそれを
0:17:11	②としてはまとめて、
0:17:13	同じ対応もあるかもしれませんがそういう、
0:17:18	達成するための対応を一つ一つ変えていくってことかなと思いました。以上です。
0:17:25	はい。規制庁加来です。それだと駄目なんですよ。
0:17:29	野瀬。
0:17:29	て説明分類を決めるっていうのはまだ小タスクでしかなくて、
0:17:34	設計説明分類を決めるの当節せ、
0:17:39	説明グループを整理するのっていうのは、切っても切れない関係にあってまとめて整理しなきゃいけないですねと。
0:17:47	いうこと。
0:17:48	で、さらに、設計説明分類を定めるっていうところは主に資料一位のような気はするんですけど、
0:17:56	資料2での要求事項を整理をすると。
0:17:59	いうことのタスクもう、並行しなきゃいけないということなので、宇津木梨衣。
0:18:07	実施していて相互関係をうまく整理できなかったっていうことを払拭しなきゃいけないって、今日のコメントリストっていうのは他で整理したことも、合体させていったと。
0:18:18	ということなので、そういった少のう。
0:18:22	範囲をですね、どういうふう考えていくのかっていうのが非常に大事だと思ってます。で、その点では用語ではうまく認識共有ができないので、ここでは目的を踏まえ、

0:18:34	ライオンの対応、念頭についてということで、ここに考えてる対応っていうのに固執せずに、どうまとめてっいたらいいんだろうかっていうことから含めて考えながら分類して整理してくださいねっていうことでお伝えをしました。
0:18:53	はい。日本原燃山田です。はい。わかりました退院、どういう単位で、目的に対してまとめていくかっていうことを、まだちょっと私も足りてない。
0:19:04	みたいなのではい。そこを踏まえて、理解して、作業していきたいと思います。
0:19:09	以上です。
0:19:11	はい。コサクです。今後作業するときには気をつけていただきたいっていうのはそうなんですけど、振替りーてメモを起こす際にもう、
0:19:22	そういった趣旨をですね、しっかりと、
0:19:25	踏まえて、それをどう文書化してっいたらいいんちゃんと伝わっていくのかと、いうことを考えていって欲しいんですね。その意味でワー
0:19:36	発言者が悩んでいるルーワードとかっていうのはまさに書きにくいところであって、その悩んでいる趣旨が何なのか、何で悩んでるのかっていうことを、
0:19:47	自分なりにも考えていかないと、文字起こしできないんですね。
0:19:52	で、それで悩んでるところは悩んで筆が止まっても多分追いつかなくなるんだと思うので、何らかで仮置きをしつつ、後からその発言者に
0:20:03	意図を聞いて、修正をしていくとか、他の人と話をするとか、あと、
0:20:08	いうことで理解を深めていくっていうことがこのヒアリング途中においても大事なことだと思いますので、意識しながら、これから対応していただき、いただければと思います。
0:20:25	はい、日本原燃山田です。はい、了解しました。はい。
0:20:30	規制庁小高です 3 番からまたアノイセよろしく申し上げます。はい。乳井西原でございます。はい。そうなんですけど
0:20:39	講演をすいません直し切れず、2-2 イマイもまた偏った指摘になってますけど、趣旨としては構造設計、
0:20:50	としてまずは 2-1 を説明するとその中で 2-2. 関係をどう、整理をしていかないといけないのかっていうのを考え方を紐づけていかなきゃいけないっていうことが宿題だと思ってます。
0:21:04	評価単品で出てくるものを設計の個別の設計として同じ要求事項から、設計と評価が繋がっているもの。

0:21:15	あと飛び地になってる場合があるものっていうのを、パターンを拾い上げて、抜け漏れがないようにどう整理をしていくかっていう考え方、方針を決めると。
0:21:26	いうことがやらなきゃいけないことだと認識をしています。書いてることで全然違うことを言ってしまいました。そういうふうには書き直して欲しいなという意図でした。はい。
0:21:48	規制庁コサクです。
0:21:51	おっしゃる通りで今の
0:21:53	今コメン。
0:21:54	イトウとして書かれてるやつは全く180度違うことが書かれているので、
0:22:01	先ほどはちょっとこの場で話しましたが、やはり、①の後段で言った方針のように、
0:22:09	改めて整理をして、確認をした方がいいんじゃないかなっていう気がします。はい。はい。入園者でございますこのあと4番以降もですね、ここに書かなきゃいけないってことまで、
0:22:24	個別に起こしてもらっているものもあるので我々の記録として残しておく意味はあるけど、対応方針としてまとめるにはDOTというところもあるので、
0:22:35	はい。先ほどの一番で言った、早速、またはの方の口座を使うのは、何かかなり意識な気がしますが、コメントリストとしてアノというよりも対応方針リストとしてですね。
0:22:49	まとめて、明日にでも出させていただいて、認識、そごがないかどうかの確認がさせていただくようにできればと思います。はい。
0:23:03	はい。規制庁小高です。よろしくお願いします。その時には
0:23:10	大分これまでのコメントが集約され、整理をされてっていうことになると思うんですけど。
0:23:16	念のため漏れがないかっていうことと言えば今回のリストの番号との紐づけなんかは書いといてもらうと。
0:23:26	いいのかなと思いますけどそのあたりを行っていきますかね。はい。日本イシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りで変に抜けてしまうとまた対応が漏れてしまうので
0:23:40	対応方針として整理しつつ、これまで整理をしていた番号をどれとひも解いているかをわかるように進めさせていただこうと思います。はい。
0:23:50	はい。補足ですよろしく。
0:23:53	それとですね

0:23:55	今回、
0:24:00	4月20日のヒアリングのものは入れていただいているんですけど、
0:24:05	直近だったんで、入るのは当然無理だとは思いつつ、もう、
0:24:14	当先週の、
0:24:17	ヒアリング、
0:24:22	SA関係親、
0:24:26	うん。
0:24:27	この、
0:24:29	8日の午前のヒアリングですかね。
0:24:33	話も大分関連してるというか
0:24:39	設計説明分類の整理において要求事項を整理して求めていくっていうことに、ほぼ、
0:24:46	包含されるんじゃないかなと思ってんですけど。
0:24:50	その辺りってどうなってますか。
0:24:53	はい。上限2週でございます。はい。
0:24:58	おっしゃって、いものとして具体的に提示はさせていただいてませんが社内としては、対応方針として整理はしているものが確かあったはずなので、それも、
0:25:11	ちょっとソネ番号が取ってるわけじゃないので、参考で、以前のご指摘がこんなのがあってこれをここに収めてますみたいのがわかるように、
0:25:24	非常にめった詰めつけてでもリンクを取って、今回全部集約できるようにさせていただければと思います。
0:25:33	はい。古作です。コメントとして載せる必要ないので対応方針で整理いただければいいことに先ほどしてますから、
0:25:41	その意味では
0:25:45	少なくともコメン。
0:25:47	いつのヒアリングの話題のものかっていうことの日付は残していただくんだと思うので、
0:25:53	その時2、8日のヒアリングも踏まえています。
0:25:58	踏まえて対応しますっていうことがわかるようには最低限、メモに入れていただければなというふうに思います。
0:26:07	はい。乳井の石田でございます承知いたしました全体の枠としてそれぞれの対応方針が、

0:26:15	いつのヒアリングでのやりとりを踏まえたものなのかというのがまずわかるようにということと、今回提示をしている対応方針のところについては
0:26:26	当番号の紐づけをしてどれと銀行してるのかというのがわかります。
0:26:30	ということで全体整理を進めさせていただければと思います。
0:26:37	はい。補足ですよろしくお願いします。というのも、8日でヒアリングした資料の内容でいうと、やはり要求事項をどうする
0:26:47	認識して抽出していくのかっていうようなこととかがぶれてるんじゃないかな。
0:26:52	単独で整理をし、タスクとしてやったがために、共通中にやってることとその考え方ってところがぶれちゃってるような気がする。
0:27:03	というようなところがあるのでまとめて整理をいただくと、それが是正されるんじゃないのかなというのを期待しています。
0:27:12	個別には8日に行ってルートころだと思いますのでここは言いませんけど、
0:27:19	それで
0:27:21	特に1.2Ssだったり1.0Ssだったりかっていったところが戻ってみえてたりとかですね。
0:27:27	ということがありますんで、
0:27:32	整理をしていただけるんじゃないかなと思う。
0:27:34	てます。
0:27:36	逆にちょっと追加でその部分での視点で
0:27:42	意識しておいて欲しいのは、36条という関係でSA設備の設計条件を大分、
0:27:51	包含して述べているところですけど、基本設計方針になると、分解されて外部衝撃キーの関係だったり内部事象の関係だったりっていうので整理されていく。
0:28:04	ことになってたんだと思うので、その関係から、DBの関係等
0:28:11	整理をしていくっていう流れができるはずだな。
0:28:15	と思っているんですが、
0:28:17	そのあたりは、
0:28:19	今、共通12でどうその36条を変えていくかかっていうのでイメージはでき、
0:28:26	いると思っていいですかね。

0:28:29	はい、日本インダでございます。まずイメージが供給的な認識として持ててるかと言われると、すいません現状どうですか。私としてどうしたいかのイメージは、
0:28:41	できてるつもりです
0:28:45	36条として、条文要求で当然ながら資料2が整理されますので、その中で、外的内的のハザードに対する設計として機能を損なわないって環境条件等の中で出てくると。
0:29:02	そこで資料2で重大事故対象設備自体の設計は、どう考えるかで答えの
0:29:11	構造強度だったり何々でどう守るかってところの考え方については、8条で示しているものと、飛ばしてですねリンクを取るとか何か整理の仕方を考えたいなとは思ってました。
0:29:30	はい。規制庁コサクです。
0:29:33	36条関係で基本、規制庁方針っていうのはDBっていうのは、
0:29:45	内部事象だと対応付けて文章を作っていたはずで、確か本文とかだと関連付けて同じように書いてるけど、呼び込むような形にはしてなかったんじゃないかなと思うんですよ。
0:29:58	それから向こうとセットにしますとって外に飛ばせばいいということだと思ってるんですけど、同じ文章で書いてるときに同じですっていうことを、何らかワククッション入れて、同じように飛ばしていくと。
0:30:13	いうワークショップかなと思っていて、そのときに、プラスアルファの条件があったり何なりっていうところは、
0:30:25	資料にはなると思っていて、わかるようにしていくという、思ったんですけど。
0:30:34	はい。
0:30:35	乳井西田でございます。はい以前、SAとDBで、合わせて評価云々っていう時にどこまで急いで書きますかっていう話を、
0:30:46	整理したかった意図はおっしゃっていただいている通りでどこまで、36条の資料2の中で、書いておいて、
0:30:55	あと、八条のものとジョイントしてどこから書くかと、いうことの整理だと思ってるんですけど条件が違うものは36条側の42とかでちゃんと示した上でジョイントする部分っていうのを、山根を飛ばすということかと思ってました。
0:31:12	その線引きは認識しているつもりではありますはい。
0:31:19	はい。規制庁、黒須です。それで言うと

0:31:24	前回のDBSAの資料ではその辺りあまり名gになってないんですけど、
0:31:31	次の共通 12 が出てくるタイミングに置いて 36 条ではこういうふう到他 条文に飛ばしますよとかっていうことで、
0:31:41	本文 3 等なのかもしれませんけど、
0:31:45	何らか明示されルーようになると思っていますかね。
0:31:51	はい。日本原燃伊勢でございますはい
0:31:56	冒頭申し上げた通りタスク病院としてあっちこっち行かないようにやると いうことはまさしく、そういうことだと思っておりますので、
0:32:06	どこ分回転するかというところを 36 条側の資料 2 で、どういうところか ら、38 条でっていうところの整理を、参考という形になると思いますが本 文を提示する時に定例会をさせていただくと。
0:32:22	いうこと最初の設計説明ぐらいのエミ体でも同じように参考でつけようか なと思ってましたので整理としては、そういった形で展開できていければ なと思ってます。はい。
0:32:36	規制庁細田です。わかりました。
0:32:39	対応がそういうことであれば対応方針についても、あわせて整理をして いただくっていうことで、合理的に進められると思いますんで対応よろし くお願いします。以上です。
0:32:56	はい、承知いたしました。
0:33:01	緊張ヤマグチです。
0:33:03	それで
0:33:05	このヒアリングで衛藤、本件について他は規制庁から何かございますで しょうか。
0:33:14	よろしければ、
0:33:17	竜巻の内容に入りたいと思います。
0:33:29	はい、少々お待ちください。
0:33:37	これも
0:33:40	対応方針の資料が溶け込んだ状態で、
0:33:46	あれですよ、コメントリスト
0:34:24	慎重ヤマグチです。江藤にホリノイシグロです。
0:34:30	すいません渡しました。それではですね、竜巻防護の設計に係る考え 方の整理についてということについて説明をさせていただきます。
0:34:43	前回ヒアリングを受けて設計思想とか、設計上の配慮事項について、ど のような判断をしているのかといったようなところをまとめていくというこ とで資料 2、8 月 10 日に提示させていただいております

0:34:57	現状記載している内容に加えて何かというわけじゃないのですねちょっと一応あらかじめお伝えしておくべきだったかなと思ったことだけちょっとお伝えしようかなというふうに思っております。
0:35:09	添付 134 というのがあるんですけども、添付 2 について、これ前回ほとんど空白が多かったと、というような状況でしたので、分類ごとにシートを分けて、
0:35:22	営業全体が空欄となるような場合は削除していくと、いうふうな整理をしております。また業績方針とか設計方針について、従来から記載を変更しているものを、赤字で書いていて、
0:35:35	その考え方をしていくというような記載をしてます。その辺ちょっとすみませんじゃ受けておりました。
0:35:41	あと、添付 3 店舗につきましてはラビリンスと開口の部分について新しい、
0:35:46	けども、前回修正した箇所を赤字で破線でいくような、
0:35:52	あと修正箇所がわかるようになっております。各防護対象施設が有する機能、機器を記載する必要があるということで、その記載を追記するというような形になっております。
0:36:04	前半添付 1 のところで、設計の考え方、フローのような形でお示しさせていただいているんですけども、中身ちょっと読んでいただいていると思いますので説明は割愛したいと思います。
0:36:17	短いんですけど、以上になります。
0:36:21	規制庁ヤマグチミヤグスそれでは規制庁若菜加来。
0:36:30	規制庁の田尻です。とりあえず、最初の方のページからなんですけど、さっきのコメントリスト等も関連してなんですけど、
0:36:38	ちょっとここに立ち戻って恐縮なんだけど、
0:36:41	この資料で結局何をしたいかっていうところを、多分 1 回認識合わせした方がいいと思っていて、今回 1 ページの 1 ポツで概要が書かれてるのはこの資料に何がついてますよっていうのを添付 1 から添付 4 でこういう資料ですよっていうのがあるのはわかるんですけど。
0:36:56	2 ポツっていうのは、
0:36:58	何につなげる内容に今なってるかっていうと原燃の認識ってまず何ですか。
0:37:04	日本原燃の石黒です。この 2 ポツにつきましては、
0:37:10	資料添付の A1、
0:37:14	添付の A と 2 についての概略を記載したものでして、

0:37:23	もともとの目的というところに立ち返りますと、資料 1 資料に資料 3、これ共通 12 の資料を今後提出していくにあたって、そのSsなるものを
0:37:36	しっかり変えていくということと、
0:37:40	あらかじめ議論が必要なものについては、この中身、中でもって議論できるように、形にしていこうというのが
0:37:48	目的でありましてですねこの 2 ポツそのもので議論するとかこれはですね、この添付についての説明にとどめていると、というような形に、鳥生という理解です。以上です。
0:38:02	庁の田尻です。
0:38:04	ちょっとはつきりしなかったじゃんだったんですけど、2 ポツに意味はないっていう説明ですかねいや、何か、そもそもがないっていう説明ですか。
0:38:15	何か位置付けがわからなくて今まで何かエッセンスを抽出してとかでも若干共通住民との関係で何か整理をしているようなことも言われた気がするんですけど。
0:38:23	この文言の意味がなくてここは、後の、
0:38:27	資料の構成を言うために一つだけに意味があるんだったら 2 ポツの話はまとめても仕方ない気もするけど、ここは今の現の説明ってのはどういう意図でしたっけ。
0:38:38	運営の仕事です。例えばですけれどもすみませんたとえ話になってしまっても大変恐縮なんですけど、一番は概念を言ってるので、両括弧 1 の方は概念を言ってるだけなのであまり意味がないということで理解していただいていたのかなと思います。
0:38:52	両括弧 2 につきましては、分類に書いてるんですけども、こちらは
0:38:58	もちろん、
0:39:00	昨日の話、ここ。
0:39:09	えっと、2 ポツの日本原燃の石黒です 2 ポツの意味自体は、この添付に書いてあることを、概要を示しているものだけにすぎませんので、
0:39:19	これ、これでもって、
0:39:22	共通 12 の中に入っていくというものではないという理解で結構です。以上です。
0:39:30	規制庁あたりです。1 ページ 2 ページがあんまり意味がないとなったときなんですけど、ウチヤマの方の資料。
0:39:38	それぞれ添付 1 とか添付の 2 とかのかもしれないけどこれが共通中にそのまま繋がるというイメージなのか。

0:39:45	今回のヒアリングのそもそも位置付けなんですけど一番当初にやってたのは、
0:39:50	竜巻防護対策施設に開口があったり、耐震の時の
0:39:55	離隔距離どれぐらいにするかっていうところの整理がちゃんとなってなかったりってところから始まっはいるんですけど、
0:40:02	何か、
0:40:02	どこまでやろうとしてるか若干中途半端になってきていて厳然として、これで一定の整理をした上で共通中に行きたいのか、さっき言ったような開講とかをちゃんとしてあげますよとかっていう方針ところの考え方だけ伝えて、共通 12、
0:40:16	オダした上でそらの議論をしたいのかという今、どう考えてましたっけ。
0:40:22	日本原燃の石黒ですけれども、共通中に入る前に、言葉、
0:40:32	あれですけどだまりラビリンスの考え方について
0:40:38	共通認識を持っておきたいというふうに考えているのと、等開口部につきましてはですね、一部、一部といいますか、1杯といった開口部につきましては、閉じるという方針を指し示させていただいたんですけども、
0:40:52	そのとり方について資料で示させていただいておりますけれども、その辺のやり方についての認識ってのはしっかり合わせていく必要があるかなというふうに思っております、これは共通 12 の、
0:41:04	実績でまとめる前にですね、お出しする、今議論しておくべきものかなと思ひまして、今回の資料をちょっとお出しさせていただいてという形になります。それ以外のものにつきましては、共通 12 の中でご説明なかなというふうに考えておりました。以上です。
0:41:22	長も 2 人です。今の話だと、添付の 34 て、共通中にあと資料の 3 とかですかねって位置付けになっていて、
0:41:33	例えば添付の 1 とか添付の 2 で何かを今したいっていうふうには原燃は考えてますか。
0:41:40	日本原燃の石黒です。この添付 1 と 2 というのは、
0:41:46	何がしたいかっていうと、先ほど言いましたラビリンスの話とかっていうのが、うん。断面的な説明にどうしてもなってしまうという理解をしていたので、その上流から考えたときに、そのラビリンスといったものが、

0:42:00	どのような扱いになるのか、どのような位置付けなのかっていったところをしっかりと上流から整理した上で議論していくべきだというふうに考えまして、添付 1 とか 2 とかってのがついていると。
0:42:12	当然ですね我々の頭の整理にもなるので、非常に有益な作業だったのかなというふうに個人的に考えております。以上です。
0:42:23	規制庁谷列等、
0:42:26	ちょっと認識が合ってるかどうかわからんところがあるんですけど今言われたのって 3 ページ以降とかのところ、後でちょっと内容を集めますけど設計の考え方っていうのが書かれていってどういったときにどういう対策をしますよとかの整理をするっていう話をしたりとかの話がメインだと思うんですけど。
0:42:44	今 8、9 ページ以降についている添付の 2 ですかねこれはどっちかって資料 2 とかの並びで何かここで説明をしようとしてるのかなと思ったんですけど、1 通話なアクセス 8 ページからですね、8 ページからのやつでこいつは何の位置付けでしたっけ。
0:42:59	日本原燃の集合です。この 8 ページ土肥。
0:43:03	添付の 2 のものにつきましては、ここに記載している構造の中身というのは、資料 3 の記載の中身にも直結していくものになりますので、資料 3 としての
0:43:19	記載の程度感といったところがアノをお見せできるかなということで、用意させていただいたものになります。
0:43:26	以上です。
0:43:28	規制庁の田尻です。ここの話ってし、共通 12 の資料 123 の流れがあって、その中での話とかでも当然見ていく形になるんですけど、
0:43:40	今言われてるのって、今回資料 3 についてラビリンスであるとか、
0:43:46	見方の話とかをする際にその前段部分についても一定程度示すためだけに用意したっていう説明ですかね
0:43:53	要は何かっていうと、今回のところで、8 ページ以降のところ、上段部分、上段っていうのが縦軸と言っていいのかわかんないですけど、多少の分類の話みたいのも何か整理しているようにも見たんですけどここの考え方とかっていうのは、
0:44:06	どのタイミングで議論しようとしても、この資料ですかねそれとも共通 12 のタイミングになると、資料 1 タカダのか、資料 1 と 2 かな、資料一緒に踏まえてみるとここの話ができるようになっているとかそういうことですかね。

0:44:19	40年のイングリです。
0:44:23	分類の話は、
0:44:25	一旦この場でするものかなとは思っておりました。
0:44:31	なので通しページ3ページでもですね、少しその色を変えたりして、その分類っていうのが、伸びるような形にさせていただいた上で、
0:44:41	ちょっと資料添付2かというふうにつきましてはちょっと分類がですねちょっとわかりにくい、わかりやすく、形になってないので、ちょっとその辺がすごく見えた恐縮だったんですけどその分類に従って、作りこんでるというような、
0:44:56	形にはなっておりましたなのでそこははい。連動している形として、用意していたという認識ではございます。資料がちょっと、
0:45:06	不十分で申し訳なかったです。以上です。
0:45:11	規制庁の鍛冶です。今3ページの分類というふうに言われたんですけど3ページには多分フローがあるんですけど今言われたって1ページの(2)で言ってBCPの分類の話ですか。
0:45:23	日本への就労です。はいおっしゃる通り1ページのABCDで、3ページにも緑とか黄色とか青とかグレーとか、あと対策設備っていうのがあって、
0:45:36	それがすいませんちょっとわかりにくいんですけど、ABCDとそれなりにちょっと対応させていて、
0:45:43	たつもりであったのでちょっとそのような表現になってしまいました。
0:45:47	以上です。
0:45:50	規制庁の田尻です。
0:45:54	ABCDEっていう意味でいうと、これ別に許可のときからある程度示されていたし、第1回の設工認の基本設計方針とかその添付でも示されたレベルの分類でしかないんですけど、
0:46:05	今、最初僕が分類って言ったのは、ちょっと8ページの縦軸とかになるとその分類の中で、どういうその中でも、多少の分類、
0:46:14	個別の違いがあるのでそういったところも含めた、どちら小分類に近いですからさっきの共通の話なんかだと、そういったところも含めて多少話をしようとしてるのかなって思ってたんですけど。
0:46:24	とりあえず元の話をしたいてまず思ったのは、さっき言ったABCDまでの話ですかね。
0:46:32	日本原燃の石黒です。
0:46:35	はい。おっしゃるように、

0:46:40	考えていたのは、そのABCDの話で、そこからさらに細かい分類について議論をする。
0:46:49	つもりにはちよつとしていなかったというのが、
0:46:52	実態でございます。
0:46:54	以上です。
0:46:56	支店長あたりです。それっていうのは共通、要は要はおつきな根本になるかなってしまう可能性がある海溝とかの話を整理した上で、あとは共通 12 として、
0:47:08	資料を意識示した上で相談したとヒアリングを受けたいんですがそういうことですかね。
0:47:14	はい。日本原燃の石黒です。はい。それがいいかどうかちよつとあれなんでわからないんですけど、そのつもりにしておりました。以上です。
0:47:29	規制庁の田尻です。
0:47:32	本来的に言うと多分この前段部分で一定程度整理しようというものが増えていったような気はするんですけど。
0:47:39	共通 12 で一式示し玉田アノですけど、
0:47:44	BLEACHシマダアノかけて原燃整理しようとする、そのたびに整理で戸惑っているような気がする、共通要因は共通とは思っているんですけど、
0:47:54	この一、二ページっていうのが意味ない中で 3 ページ以降の話をちよつと今後聞いていきたいんですけど、12 ページの段階で他の方からあればさっきお願いします。
0:48:12	何か規制庁不足です。あまり意味がないっていうことなので、簡単にだけ申し上げておきますけど、
0:48:21	点プーにワー
0:48:25	2 ポツ、括弧 2 で言われた ABCD のまとまりで作業しているはずで、そういったことをつなげる。
0:48:37	くだりはどっかに書いといてもらわないととても資料見れないということだとは思いますが。
0:48:43	それが添付 2 の頭なのか、この本文なのかは、
0:48:49	どちらでもいいんですけど、そういったことはちゃんと配慮して今後変えてくださいと。
0:48:54	いうところです。
0:48:57	一方、(3)は、
0:49:00	もうこれこそ何を言っているかわからない。

0:49:03	ところで、具体の設計方針を書き、
0:49:08	連ねていたということのようですけど、どのレベルのことを書きたいのか、それによって何がしたいのかが全然わからないと。
0:49:15	ということ先ほど田尻が言ったように、添付 2 の方そのあたりを、
0:49:23	何か話したいのかなと思えばそれも話しするつもりはあまりないみたいなことを言われて、
0:49:28	じゃあ何がしたいんだってということなんですけど。
0:49:32	もう一つあったのは、先ほど丹治縦軸と言ったんですけど、横軸で設備が羅列してあるんですけどこの設備って何者なのと、
0:49:42	何でこういうまとまりでこう、或いはこういう分類で分けて書いてるのっていうのもよくわからないと。
0:49:50	ということなんですけど。
0:49:53	そういったこととかわあん添付 2 の頭なり、本文なり何らか書かれてしかるべきだと思うんですけど、何で変えてないんですかと。
0:50:05	前はそういうことをコメントしたはずなんですけど、っていうのはどうなってるんですか。
0:50:12	日本原燃の石黒ですけれども、
0:50:18	すいませんちょっとそういう意味では説明が不足していたかなというふうに思います。ここで目で申し上げたかったのは、
0:50:26	ちょっと開きっ放しで恐縮なんですけど、それはさんざんこの辺の部分を見てきたっていうふうに、
0:50:33	江藤ワタナベさんからもおっしゃっていただいたところもあったんですけど、この考え方そのものは、添付 1、通しページ 3 のところを、
0:50:43	見ていただいたわけですね。
0:50:46	ちょっとフローにはなってるわけなんですけれども、
0:50:50	いくつかこのフローの中で、どのような登場人物が出てくるかっていうのが、このフローで見てわかるというふうに、ちょっと考えておまして、
0:51:00	それぞれ色をつけて、竜巻ボウタイIA対象施設等を収納する建屋とか、
0:51:07	言ったようなこの塊を一つのグループにしようっていうことで、させていただいた塊でもって、
0:51:15	添付 2 以降もですね、作り込んでいるというような形になってまして、ちょっと確かにですね言葉でですね、これは何なのかっていうところの説明が不足してるなというふうに思いますので、
0:51:28	その点記載しておくべきというのはおっしゃる通りなんですけれども、添付の中で添付でね、

0:51:36	このスペース 3 ページのこのフローの中で、一定のグルーピングを考えていたといったところを、ちょっと文字化しておくべきだったなというふう にちょっと反省しております。
0:51:48	以上です。
0:51:50	規制庁不足ですけど、添付 1 に入っちゃうとタジリの進め方とちょっと違 うかなってというような気がするので、言いたいことは山ほどあるんですけ どそこをぐっとこらえて、
0:52:03	だから、結局は別でも話をしておきたかったことがある。
0:52:09	添付 2 でもあるかのようなことを言っておられるんですけどさっきの説 明と違うんで、
0:52:15	私には今日何をしたらいいのかさっぱりわかりません。
0:52:18	田尻さんにお返しします。
0:52:22	タジリですありがとうございますいや僕もさっき頭でいいからちょっと途 中添付に見てからよく悩んだんですけど、さっきおっしゃった通り添付 2 で、そもそもどういう考え方でこの表を作ったのかも何も書かれてない 状況なので、
0:52:36	頭でそこを聞こうと思ったんですけど今さっき言われたように何かやりたい ことがあるのかないのかわからんという傾向になっているので、
0:52:43	見てないので、すごくやりたいからやってるけど、とりあえずちょっと添付
0:52:49	1 とかに関して 3 ページにすごく頼っておられる感じがするんで 3 ペ ージで少し確認なんですけど、
0:52:55	ちょっとフローを細かく詰めてもいいんですけど、これ減りながら、
0:52:59	突っ込みどころも多々あって、
0:53:01	例えば一番最初は安重か否かとかって、安重ですって言ったら建屋が 出てくるんですけど安全安重じゃないって言ったら建屋はそこにはいな かったりアンリユウじゃない建屋だっていっぱい入れたりとか何かいろい ろ突っ込みどころは山ほどあるんですけど、
0:53:14	このフローっていうのは、どうやって作っていったかっていうと何か考え 方がんでしたっけ。
0:53:23	日本原燃の就労です。
0:53:26	コウノフローにつきましては、
0:53:30	今、
0:53:31	原燃にいるメンバーで、
0:53:36	設計上流からどのようなことを考えているかといったところを、形にして みようということで、

0:53:45	順次上げていって、形作っていたということで、何か一つの指標に基づいて、
0:53:56	順番に並べていったといったような形ではございません。
0:54:03	ちゃった事実、本来の考えに沿って作って欲しいところなんですけど言っても仕方なさそうなので最低限抜け漏れがないかっていう意味でいうとさっき言った安重じゃない建屋とかもこれどっかで拾えるんですが他にも多々あるんですけどとりあえずは、
0:54:18	頭の方の、
0:54:19	ひし形って意味で、
0:54:26	日本原燃の仕事です。これ建屋外に設置されているっていうので屋外というふうに書いてあるの中に、建屋そのもの、従来の建屋も含まれるという認識をしております。以上です。
0:54:42	Hオオタニです。
0:54:45	Sの方に住んでると建屋がっていう名前でやるけれど、ノーってやると、それは建屋外ってやつの中に建屋も入ってるっていうことでいいですか。
0:55:05	日本原燃石黒です。は、はい。その理解をしております。
0:55:14	規制庁の鍛冶ですけど、原燃内で共通の理解されてればできるのかもしれないんですけど、
0:55:22	片方では別に分けて片方でも入れるっていうやり方をすると、入ってるか入ってないかどっかでもめそうな気がするんで、
0:55:30	整理をいただいた方がいいかなと思いますと、その上で今言われたように、安重のフォルダーと建屋を特出した方がいいタケノ安重じゃなければそこを出さなくていいとかっていうふうに、
0:55:42	一つ一つのひし形のところで、考え方があると思うんですけど、さっき何か考え方の話があんまり説明した、できないようなこと言われたんですけどそこまで長くないんですか。
0:55:55	すいません規制庁コサクです。ちょっとだけ割り込ませてもらうと。
0:56:00	今言われたダイヤの一番上のNoれ行の右側、屋外に、
0:56:08	建屋外に設置されているか。
0:56:11	いうダイヤの判断基準は正しいですか。これ設計方針として何を根拠にしています。
0:56:20	これで判断できるってことは、
0:56:22	起案中の建屋は竜巻防護対策してるってことになりますよ。
0:56:30	そんな設計方針我々聞いてないんですけど。

0:56:46	日本原燃の石黒です。
0:56:48	避難所の建屋は、
0:56:54	波及的傾向を及ぼさないことを確認した上で、
0:56:58	対策をしないで、いるというフローになるという理解をしております。
0:57:06	もう一つ右側のひし形のところ行って、そこから右に行く規制庁。
0:57:13	そこで、
0:57:15	検討が必要なのであれば、屋内にある。
0:57:18	起案中を何でそのまま検討不要にできるんですか。
0:57:31	け。
0:57:37	人間のイングロです。
0:57:39	はい。
0:57:41	その点は、確かにおっしゃる通りで、建物そのものが、ヒュー的影響及ぼすので、
0:57:50	及ぼすパターンがあるならば、要はこの壁が壊れるというのがあるのであれば、その中にある屋内のものに対する影響というのが出てくるんじゃないかっていう多分ご指摘だと思うんですけども。
0:58:03	違う。
0:58:06	ちょっとちょっとすいません1期決まってください。
0:58:23	規制庁コサクですけど、濃縮の人にでも聞いてもらったらいいと思うんですけど。
0:58:27	家の中で建屋で防護してないのであれば、そこは飛散する恐れがあるということで、それで飛散で波及影響を及ぼすものであれば、避難所の建屋内であっても、
0:58:39	うまくによる対応をとると、というようなことで方針が示されていて、その固縛の説明も、
0:58:46	濃縮の方で受けてるんですよ。
0:58:51	はい、吉田でございます。はい。0 結局あれですね、目視でもエネルギー管理建屋で同じような、
0:59:01	話をしているのとあとは、
0:59:04	設計の波及影響も考慮して竜巻の方を設計をなささいというときに、
0:59:11	第1回のMOXの添付書類オノをカトウ影響の考慮する施設っていうのは何かっていうのは、
0:59:18	別に防護体制の話をしてるわけじゃなくて、避難所の設備が波及影響を及ぼさないかっていうことを確認していくっていうことを見ているので、

0:59:27	区内に入ってるからって言うよりはその波及影響の視点をちゃんと見ていかなきゃいけないよって言うこともあるのかなと思いますので、そこも含めて、
0:59:38	全部を拾っていかなきゃいけないって言うのと、多分、
0:59:42	記憶でいくと最初って時もとも安全審査というか、今後対象にならないものもちゃんと設計として考慮しなきゃいかんよねって言うやりとりも出た記憶あるんですけどすっかり抜けてるなという気がします。はい。
1:00:03	古作です。田尻さんどうぞ。
1:00:06	規制庁土肥です。ありがとうございますで、今のような話をしていくと、さっき言った結局、飛来物となり得るなり売らないって言う形の中で、
1:00:17	例えばここんどこで細かな話とかって言うのも多分こっちで読んでたりスルーのガ－対策自身のかもしれないんですけど、この対象範囲で及ぼす及ぼさないと言って決めてんのか、考え方って実はここに書かれてないと思う。
1:00:32	いるんですけどそこらは書いてないだけでどっかにあるんですかね。
1:00:59	茶谷さん、わかりづらかったかもしれない。
1:01:04	するやつであれば、こう対策しますよとかって言って別の古いって対策設備で書いてあったりする訳ですけどここ対策実施シートだけ一言書かれて終わって、特にほかの説明もなかったりするんで、
1:01:15	何かその考え方とかがどっかにあるのかとかそういう意味です。
1:01:22	見かけね資料です。この対策については、
1:01:27	すいませんほかで記載している箇所は、しています。
1:01:33	すいません。日本インダでございましてちょっとこのフローの目的をちゃんと決めないといけないうって言って、
1:01:40	ちょっと濡れグレーなところもあるので、これ多分
1:01:44	厚真希望対策設備を設置しないといけないうって言う矢羽根が飛ぶ場所がどこかっていうのを単純に多分紐付けをしたくて、表なので、
1:01:54	実際設計で考慮しなきゃいけないものって言うもの的に挙げられてますかっていう視点を入れた瞬間に多分破綻するような状況ではないかなと思います。そこを、
1:02:05	このフローの目的をちゃんと決めてとはいえ対策設備を設置するものを洗い出しますって言うともう、
1:02:11	わかっとなるかなという感じにしかならないので、この目的がちゃんと決まってその目的に沿ったフローとして示され示すということで、整理をし直す必要があるかなと思ってました。はい。

1:02:26	有井リーダー規制庁タジリです今石原さん言っていたように、こいつの位置付けがそもそもよくわからなくて、頭の方では設計の考え方を以下の通り整理するって言うんですけど。
1:02:37	フローの行き着く先は、考え方に関する設計の確認完了っていうふうに言ってる設計ではなくて確認をしているだけになっていて、
1:02:45	さっき言ったように、網羅性があるのかどうかもよくわからない形になっていて、
1:02:51	こいつに先ほどからの説明大体 3 ページにっていうふうに言ってこいつに頼ってるようだったのでいかなれば個別に設計フローが一式入ってるというところかなと思ったんですけども、さっき言ったように、位置付けとして何説明したいのか要は目的が何なのかよくわからずにフローだけが現れると。
1:03:05	これで足りるのって話はどうしてもすることになるので、考え方とかを整理した上で示していただきたいんですけどそこは認識大丈夫ですかね。
1:03:15	日本原燃の石黒です。はい。
1:03:19	谷さんいたことを記憶わかりました切り換えます。
1:03:28	規制庁田尻です。
1:03:30	このフローを詰めて意味があるかどうかちょっとわからなくなってきたところではあるんですけど、
1:03:39	一応ざっくりした設計の考え方だけなんですけど、まず、防護対象特定しますよねと、防護対象を特定して、防護対象に対して、竜巻の荷重がかかるかどうかとかまだ判別しますよねって言って、だからそこで、
1:03:54	建屋とかっていう中にある深井いないものとかっていうところで分けたりして、中にあるんだったら建屋でありますよねと、建屋でやるけど、湯浅梶浦とかっていうふうにやっているとと思うんですけど。
1:04:05	ここの流れっていうのは、今まで基本設計方針とか設計の考え方決めてきてると思うんですけどあれに沿って整理してきたっていうこといいですかちょっと最初そういう考えは、
1:04:16	欲しかったんですけど答えがなかったんでもう 1 回戻って聞いときたいんですけど。
1:04:21	日本原燃の石黒です。そう。そこは、基本設計方針の考え方に沿ったものであるという理解をしております。そのように作った認識です。
1:04:33	規制庁た事実だとする等
1:04:37	別添 2 であるとか、いろんなものをこいつはリンクがされるはずなんですよ、設計方針の流れに沿って設計してるはずなんだから、そうするこ

	とによって、ここで言ってくる個別の対策っていうのが設計方針のこの部分と後のこともリンクするんですって話によろやく繋がっていく気がする ので、
1:04:52	何か独立して急に生まれたりはしないと思っているので少なくとも第1 回で基本的方針は聞いているつもりなので、
1:05:00	多少わかりづらかったとか言葉を補わなきゃいけないっていうのがある のは当然認識してるんですけど、何か特に何者かわからない資料が出 てくると、また1からという形になるのもよくないと思うのでその点考慮し た上でいただければと思います。
1:05:17	4年イシグロです。
1:05:19	はい、承知します。
1:05:25	規制庁の谷です。
1:05:27	その上で、3ページ4ページどうしようかな。
1:05:32	ちょっとだけ確認しておきたいことがあるんで幾つだけ一つ一つ細かく 集めないんですけど、右下4ページのところなんですけど、
1:05:40	今大分坪井他のところでは開口部があった時の話で、ラビリンス構造また は扉構造と違ってあるんですけど、ここって何か使い分けの考え方とか 違ってありますか。
1:06:03	はい。日本原燃石黒です。こちらネットのところについて扉って書いてあ るのは下に車両用扉ネットっていうふうに書いているように書いておりま すように、
1:06:14	ラビリンスにしてるところもあれば、通常閉めてるんですけど、開けたり するという、スライド式の扉もございますので
1:06:24	両方書いたということでございます。以上です。
1:06:28	院長タジリ水や後のパワポ見るんで両方あるのは知ってるんですけど、 それを使い分ける考え方で何かありますかというだ形なんですけど、 今んところはなと思うときゃいいすかね。
1:06:53	規制庁谷this聞こえましたと、要は使い分けの考え方はなくて、場所 に応じて取り上げるときもあればラビリンス構造にする時もありますよっ て思って、
1:07:04	人間の仕事です。はい、おっしゃる通りでどちらかを選択しているので、 そのどど場合はどっちでないといけないっていったもの。
1:07:13	という考え方の違いがあるわけではございません。以上です。
1:07:19	規制庁の田尻です。どっちでなければならぬと言うつもりもないんで すけど、普通物作ろうとするときにどっちの方がいいかなって考えておら

	れるからきっと、どっちかを選ぶ考え方があるような気がするんであれば今度の時でもいいんで教えていただければと思います。
1:07:42	4Kのイングリです。承知しました。
1:07:45	説明いたします。
1:07:47	はい、規制庁タジリ数、あと同じページでちょっと考え方の確認なんですけど、そのラビリンス構造の線、ちょっと順番全部おっしゃったんで二つ前のところで、
1:07:57	建物構築物を活用した設計とするってやつがいるんですけど、
1:08:01	これ原燃の基本的な考え方としては、防護対象を、対策設備、
1:08:07	だけに限らず、建屋とかでもいいから少なくとも税法をいたいんですっていうときに、
1:08:13	その建物とかを使う場合がありますよっていう話を言っているだけと思えばいいですかなんか活用した設計とするっていうのが、何を指してるかがちょっとぱっとわからなかったんですけど。
1:08:24	日本原燃石黒です。あと活用という言葉が少し混乱を招いてしまって恐縮なんですけど、というものには、
1:08:34	ネットとかアノ以外にも建屋構築物が近くにある場合はそれも使うことを言っているだけの意味になります。
1:08:45	以上です。
1:08:46	規制庁谷です。他にこれ、
1:08:49	下に矢印のみでって、期待できる場合は活用した設計とするっていうとその下に行っちゃうので、建屋とかだけ記載してるやつとかがいるっていうことになるのかなと思ってちょっと聞いたんですけど。
1:09:01	これは、そういうやつもいるんですけどつけ何か、地面とかは何か建物とか期待してるものがあつた気がするんですけど、全面とかっていうのはあんまりないような気がしてたんですけど。
1:09:14	人間のイングリです。あって一面ということで前面というものは
1:09:20	ありません。
1:09:23	行政庁です。なんでこのフローが若干変で下に伸びてた後に、
1:09:30	基本的には設計とするって言った上で、その中で、建物を期待できるものはその部分を期待しますよっていうだけのフローですかね。今の感じだと、
1:09:40	河島その通りです。
1:09:43	はい。規制庁丹治です。要は、これさっき言いましたけどこの対応と、
1:09:49	みんなが共通認識を持てるように変えていただければと思います。

1:09:55	人間のイングリです。承知しました。
1:10:00	エンチョーの谷です。
1:10:04	細かな点は含んで、次ちょっと15ページにいつてしまうんで三、四ページで他の方あればさっきお願いします。
1:10:16	規制庁補足です。
1:10:24	大和久田尻も言った通りで設計、
1:10:29	そもそも整理されているはずのものをなぜ別で整理をすると、
1:10:34	いうことで原燃のやり方ってそういうのが多いんですよ。みずから整理したはずのものをないがしろにして、別で作業してまた混乱して、
1:10:43	またやり直すという無駄作業が非常に多いので、ちゃんと積み重ねていていただきたいと言うことが、まず、
1:10:53	申し上げておきたいことで、
1:10:55	プロフログー分類をしているんだって継続説明をしているのか、何だかわからなくて、ベース確認完了って書いてあるんで、
1:11:06	これ設計じゃなくていくプロセスになってんですよ。
1:11:10	ていうところでまた間違いがあつてていうところで混乱してるっていう認識をして作業するということが必要なんだろうなと思ってます。
1:11:25	で、この後の添付2の方にもなるんですけど、そもそも入口である比嘉中とかっていうところがありますけど、
1:11:34	そこの点で間違っていないかというのがちょっと心配なんですよ。で、何かという等、安重の機能を担っているところで、屋外施設って何ぞやといったときに、
1:11:48	DGの排気管なり機関なりっていうのは当然ある中だと思ってたんですけど、波及影響の方に入ったりして、この流れでちゃんと下に行くのかって屋外の、
1:11:58	対象施設っていうところで機械的強度というふうに行くのかっていうところがすごい、よくわかんなくなってきたんですけど、どうなってます。
1:12:28	すいません日本原燃別所です。
1:12:30	ちょっとここにちょっと一緒お待ちくださいすみませんすぐに戻ってきますよ。
1:13:30	はい。日本原燃の石黒です。今古作さんからご指摘いただきました、非常DGの配管につきましてははですね、これ今、避難中という扱いになっていて、
1:13:42	これは仮に

1:13:45	穴があくとかですね、回れてしまったとしても、その機能そのものが失われるわけじゃなくて、安全に影響しないというふうな考えのもとで、ずっと引き上げていると。
1:13:56	このフローにつきましては、おっしゃる避難所なので、右側の方に流れて、
1:14:04	屋外として、
1:14:07	波及的影響を及ぼすかどうかというところを見て、
1:14:11	及ぼさないという、確認をとれば、影響なしというような見方をすると、というような、そのような考え方をしております。
1:14:22	以上です。
1:14:46	すいません日本原燃の石黒ですけど、えっと聞こえております。
1:14:54	コサクですけど。
1:15:00	それは発電所と同じ整理ですか。
1:15:07	発電炉日本原燃就労です。8年度も同じ整理だったと記憶しております。
1:15:24	今受けているノダを、
1:15:26	あと、
1:15:27	ベント管だったり消音器っていうのも、
1:15:31	ありますけど、考えは一緒ですね。
1:15:36	人間のイシグロです。はい。その通りです。
1:15:42	大井。
1:15:48	なんで、波及影響を及ぼさないになるんでしたっけ。
1:16:16	いえ。
1:16:17	人間のイシグロです。
1:16:19	再処理に関しましては、このI期間については、強度上、
1:16:26	耐えることができることを確認しているので、その意味で確認をして、波及影響を出して、
1:16:33	判断をしているということになります。以上です。
1:16:41	補足です。そこでまた混乱するんですけど、
1:16:47	機能維持のために何らかの設計がしてあるっていうことだとするとそれワー機能になってるんじゃないのかっていうふうにも思っちゃうんです。
1:16:56	けど、
1:17:02	何か、

1:17:04	炉では何ですか判断されても、確かに最近は問題ないのでっていうふうな話を聞いた記憶も確かにありますけど。
1:17:16	今説明された飛来物で強度を持ちますんでっていうような説明でしたかね。
1:17:23	それと日本のイシグロですけども、
1:17:29	再処理に関しては、結果的に強度を有していたということを確認したという理解で、
1:17:39	仮に、
1:17:40	破れたとしても穴があくとか止めたとしても、海域の層には影響ないという考え方も、
1:17:51	次、ちょっと一旦、一旦ちょっとお時間ください。すみません。
1:19:10	日本原燃の石黒です。すみません。ちょっと私強いが、認識違いで話しておりました。
1:19:18	波及的影響を、
1:19:20	考慮するに当たって、評価をするわけなんですけれども、
1:19:26	仮に、
1:19:27	小破消音器なりですね、当たって、
1:19:32	回れるなりの事象があったとしても、閉塞する事象には至らないという意味で波及的影響は与えることはない。
1:19:41	いう、反映等確認をして、
1:19:46	復旧できないという整理をしているということになります。
1:19:50	清町の田尻です。
1:19:53	ちょっと物によりけりだと思ってるんですけど、今言われたように、穴が開いてもイソベてもいいけど、継続しちゃ駄目だっていうのは確か基本概念になっていて、例えば消音器で言うんだったら、
1:20:04	電力の方がやってたのは、別に貫通することはあってもいいけどボルト部分の評価をして転倒することはないよう転倒してつぶれてしまったら閉塞してしまう可能性があるからとかの共同評価してると思うんですけど。
1:20:16	今の話っていうのは、飛来物だけの話をしてんでしたっけ。
1:20:21	日本原燃白尾です。堀さんおっしゃるように、ボルトの評価もした上で、問題ないと確認をしているので、その点も
1:20:33	炉と同じ状況になりニワなります。以上です。

1:20:38	規制庁タジリつであるとまた 34 ページのフローが多分そもそもわかりづらくて 3 ページのやつは下の方に行ったら強度評価の流れとかしっかり書いてあったりするんですけど、
1:20:48	波及影響防止のところのやつも多分強度評価してるやつはいて、そういうやつが見えづらいんですよなんか対策実施とだけ書かれている中には、評価の話もその前段か何か、多分気ついて及ぼす及ぼさない判定するための考え方がきつとどっかにあるはずで、
1:21:02	そういったのがないから結局対象何なのっていうのがこれで特定しきれない流れになるから、余計にややこしいことがついてるんじゃないかなと思うんですけどそのあたりって整理できてますか。
1:21:14	日本原燃石黒です。
1:21:17	実態の設計としてそこを考慮しているところを、ここで十分表現できていなかったというのが実態で、その辺がちょっと今回よく認識できましたので、しっかり改めていかないといけないと。
1:21:30	いうふうに考えております。
1:21:31	以上です。
1:21:33	規制庁の田尻ですアノエンドウイワサ論なんであんまり言いたくもないんですけど、普通は設計のフローを考えてその設計のフローにのっとりながら設計するものであって、
1:21:43	結果寄せ集めて大丈夫そうねっていうだけのものは多分設計のフローになってないと思うので、設計のフローだからこそわかるように書いてもらってどこで何するかっていうのを確認できるようになってないと駄目なんじゃないかなと思ってるので、
1:21:56	その辺りも含めて整理いただければと思います。
1:22:02	石黒です。はい。承知しました。
1:22:07	規制庁不足です。
1:22:09	今話をしたようなことも、添付 2 の方見るとですね基本設計方針で書いてあるんですよ。
1:22:16	基本設計方針で書いてあるってことは、
1:22:19	各条 00 資料の中を見れば、
1:22:23	それが、
1:22:25	発電所ではどういうふうになっていて、
1:22:29	それとの対応関係でどうなっているのか施設の特徴を踏まえてこうするのかというようなこともわかるようになっていると。

1:22:36	ということであって、基本設計方針っていうのが体系的に交通、記載されているんで
1:22:44	これ添付 1 っていうのは、基本的方針を、
1:22:48	一文でずー一文っていうか文章でずっと羅列しているからそれを少し二次元に広げてみますということなだけなはずなので、今みたいな誤解みたいのが生じないように。
1:23:01	そもそも方針では整理されているはずなんですよ。
1:23:05	その点でまた余計なことしないようにっていうことに戻ってくるんですけど、整理をしていただいて説明がぶれないようにしていただきたいと思います。
1:23:17	はい。承知しました。
1:23:21	それ、
1:23:22	もう規制庁コサクです。もう 1 点えーつとですね 4 ページだと③ってなってるのが何ぞやっていうことなんですけど、
1:23:34	③ワー、3、
1:23:39	ページの、
1:23:43	建屋内の施設と言ってるところで、内壁による防護が期待できないと。
1:23:52	いうふうになったものと、ということでここでなぜかかっこの裏面剥離の影響考慮と、
1:23:58	ということだけが書かれていて何で裏面剥離だけでいいんだっていう説明もないという感じなんですけど、あそこは設計方針で整理をちゃんとし直してもらえば整理がつくんだと思いますが、
1:24:11	そういったときに、
1:24:12	4 ページ、9 頭。
1:24:15	ラビリンス構造っていうところの前に入り込む、これは何ですか。
1:24:24	日本原燃の近江セガワです。
1:24:27	こちら外壁による防護が期待できないって言うてる時点で、もう開口が空いてるのと同じような扱いというふうに
1:24:38	考えるべきと。
1:24:40	思ってますね、その一つ前の 4 ページのひし形のところに、開口を設ける必要があるかっていうような、その管判断なってるんですけど、すでにもう開口は、
1:24:50	あるということになりますので、開放できないのであれば、
1:24:56	従ってその下に入ってくるというような、おのずとの考え方になるという、お考えで入れてるという形になります。

1:25:09	そういう意味ではですねちょっと裏面剥離の影響というような記載があるので、それをちょっとすっ飛ばしたかのような見方をしているのでそこはちょっとしっかりと
1:25:20	その理屈を書かないといけないかなとは思いました。
1:25:24	すいません以上です。
1:25:27	規制庁補足ですけど、
1:25:31	絶対できないなら補強すりゃいいじゃないかっていう設計方針だってあるわけですよ。
1:25:36	そのあたり、もう何もなくてこう安直に書いているっていうことがやっぱりよくわからないっていうことなので、
1:25:45	そういう実態もいろいろと踏まえながら考えて設計方針整理されているはずなんで、こういったよくわからない流れにならないようにということで整理、よろしくお願いします。
1:25:58	日本原燃石黒です。はい補強をなぜ出てきていないのか、っていうか選択として当然あるべきだというのは私も理解しておりますので、その点、承知しました。
1:26:09	以上です。
1:26:11	規制庁の館ですけど、深く持ち込み。
1:26:15	僕もないんですけど 86 ページとかのところで、薄い壁をように飛来物防護板構造を設置してますよとか言っているやつが、まさに僕はここだと思っていて要は板薄くてナカのやつだけじゃ期待できないから外側にも板をっていう話だと思うので、
1:26:31	1ヶ月にラビリンス構造扉だけに入っていないかと思ったりするのでそもそも今書かれてる選択肢だけで、元の設計が包絡できるのかっていうところも含めて精査いただければと思います。
1:26:45	日本原燃の石黒です。趣旨が理解です。先ほど 86 ページに関しては、こちら内壁ではなくて外壁そのものが薄いのでということで、はい。
1:26:59	以上です。
1:27:02	規制庁たりすると、内壁第二期で何の差があるかわかんないですけど、ただけだと期待できないから補強するっていうんではないってことでいいですか。
1:27:15	その通りを日本原燃の資料です。板をそのまま補強するのが
1:27:22	物理的といいますか、ちょっと合理性に欠けるということでそういう判断をしたという形になります。

1:27:30	清庄田です。すいません。結局こいつは対策設備じゃないんですけど。これ飛来物防護板なんですよね 86 ページって覚えたんです。
1:27:38	いただきました。はい。
1:27:41	で、支店長達ですけどそれっていうのはさっきの内壁による防護が期待できないかではないからってことなんですけど、これ、こいつは外壁だからってことですか。何かさっきのフローでいうと、こういったどっから現れる人でしたっけ。
1:27:55	これは、飯野西尾です左側の緑、緑色の方の外殻を構成するものを、がっていうところに関係する箇所になりまして、
1:28:12	政調会です。内壁による方法って言うのはこれは、中に入ってきた後の話をして栗崎
1:28:20	その通りです。
1:28:23	規制庁田井ですけど、原燃の再処理で、中に入ってくるところなんてあるんですけど。
1:28:30	現状はそのパターンはないという理解をしています。
1:28:38	規制庁足りず、ただ、風習方なんですかね空襲後だけ丸さんみたいな道もありつつとか、ちょっと結局それってどこに何がいるのかっていうやつも後ろとか根付くように作ってもらった方がいい気はするので、
1:28:50	その辺り含めて整理いただければと思います。
1:28:53	はい。日本イングリッドです。はい。承知しました。
1:29:01	規制庁田尻です。ちょっと次行かせていただいて 5 ページなんですけど、5 ページネット等板を並べているんですけども、
1:29:09	これ並べて何をしたいと思うんですけど、
1:29:12	とりあえず全体っていうふうに書かれてるネットの部分ところはネット独自のことが書かれてると思うんですけど、
1:29:18	いや、
1:29:19	例えばその次の防護ネット飛来物防護板を含むところでⅡ壁貫通防止できるっていう話があって、
1:29:27	今、ここでサポートがあって、データベースコードの話も最初に持ってたのかって言って、今そういう項目とか別に企画してるけども、
1:29:37	慰留いらんみたいなのがもう入ってないような気はするんですけど。
1:29:41	ゲームで動いたっていうのはラビリンス構造にならないから、そういう文言もいらんということなんですけど。
1:29:55	ほら、日本原燃の石黒です。そういう意味では

1:30:01	統一感がないというふうにおっしゃられて、その通りなんですけれどもちょっとここでは強度というふうな構成と京都という整理をしていた都合上ですね、
1:30:13	オノーイノウエの風土とかの強度を、防犯でおったりしているのですねそういったことをちょっと確認していて、強度という観点で
1:30:24	ラビリンスに入れてない理由にはなっていないんですけど、
1:30:29	そういう見方をして書けなかったというのがちょっと実態と。
1:30:34	規制庁のタジリさっきと同じ質問になるんでもうやめようとは思いますが、何か所々で家の資料をつけると、それぞれのなきやいけなくなるので、
1:30:45	何か最低限目的が何なのかだからこういったところ省いてますよというのがそう言ってくればまだわかるんですけど。
1:30:51	さっきのところ以外もネットのところだと、辛く転倒及び倒壊により波及影響を与えないっていうのが書いてあるのが、
1:31:00	何かこっち側の設計荷重に対して悪影響を与えないっていうのでナカムラ抜き取ってるのか取ってないのかどうかもよくわからなくなったりとかいろいろあるので、何か比較表の形式に出すけど比較はしていないんですって言われても、
1:31:11	何かよくわからなくなるだけなので、資料の目的となり示さなきやいけなにかっていうところを整理した上で対応いただければと思います。
1:31:21	40%です。はい、承知しました。すいません。
1:31:29	規制庁田井です。つまり自分からはもうこれ以上このページはないので他の方あったらお願いします。
1:31:41	社長不足です。整理し直すんだと思うので、
1:31:45	細かいこと言ってもとは思いつつなんですけど、
1:31:51	成立するんだと思うので、
1:31:55	先ほど既設のものだと裏面剥離があった場合とかっていう考えるようなこと言いつつ、入らないようにしてますと言われたところでのんですが、
1:32:04	飛来物5番は裏面剥離を防止するっていうのは必須の形にするっていうことでいいんですね。
1:32:20	一括で日本原燃石岡です。はい。鉄筋コンクリート製の飛来物防護版は裏面剥離を防止する設計にするという理解で問題あります。以上です。
1:32:34	はい。一方で

1:32:37	何だろう、既設のもので裏面剥離するものがあるのかあってそれをどうこうするっていうものはあるんですかないんですか。
1:32:59	人間のイングロです。はい。現状、裏面剥離するので対策をするものはございます。
1:33:09	補足です。はい。はあれですか。防犯の追加っていうこと。
1:33:17	ラビリンス構造云々っていうことになるのかないのかっていうのはどうなんですか。
1:33:25	日本原燃の石黒です。5番の扱いになります。ダーツをさせるようなイダ、
1:33:34	規制庁コサクです。終わりの所で、あと同じく防護番のところなんですけど、
1:33:43	5番、飛来物防護盤の中に飛来物防護版って書いてあるんですか。
1:33:48	或いは防護マンだけっていうのもあったり、
1:33:59	人間のイングロです。
1:34:01	こちら全体を指して言っているので、ちょっと言葉は
1:34:07	重複する形でちょっとなくなってしまっておりまして、この辺もちょっと不十分な記載だというふうに認識をしております。
1:34:15	失礼しました。
1:34:18	日下です。不適切だったの不適切で直してもらおうんですけど、どういうことですか。
1:34:38	日本原燃石黒です。
1:34:43	ネットに関して言うと、上に全体というふうに書いてあるところと同じような、設計上の配慮事項。
1:34:54	のところですよ。ごめんなさい。ネットは、第1回でさんざん議論してその構成物の名称をちゃんと整理しましょうねと話したので、その中の構成部材として、防護盤っていうのがあるのはわかっています。
1:35:09	それ等大変する形で防護ネットが出ているのはわかるんですけど、
1:35:15	それでいうと、一番下の飛来物防護ネットっていうのは何っていうと、全体のことですかそれとも部材のことですか。
1:35:25	OKです。
1:35:27	野木ベッショです。全体を指してます。
1:35:31	規制庁コサクそうだとすると上の、
1:35:34	レ点全体等、下の飛来物防護ネットっていうのは何が違うんですか。
1:35:42	ちょっと。
1:35:46	いや、日本全体のことですか。

1:35:49	ウエキセト別だとすると上の、
1:35:52	ベベル前と、
1:35:58	あ、すみません日本原燃の決得です。左の途中で横入れしてすみません失礼します。
1:36:03	ちょっと今ちょっとヒアリングでちょっと私の事前の確認も十分できてなくてですね、我々のちょっと竜巻のやつがちょっと一部ご存知の通り、できたはいいんですけど、十分でなかったところの手直しの部分とかね。
1:36:16	前はそそのこともいろいろありまして今回ですね要はこの資料何を目的にやるのか要は供給中に比べるとき何を目的にするのかと。
1:36:26	いったところそうでも十分できていないと。また、許可許可された第1回の設コールでもうすでに決まっている話、そっからの展開というところも十分不十分であってですね、
1:36:40	これも全部設備、実際できているところがあって、現状でないところもあって、その手直しの話もあってちょっとごちゃごちゃになってしまっておりましてちゃんと、
1:36:50	許可、第1回の設工認、それを踏まえて、今後第2回の設工認で協力住民に展開していく前に整理することをちゃんと整理して、それでも規模分類というのは、どういう部分があるかということであるか。
1:37:05	いたところをちゃんと評価して、お話ししないとちょっと、今の資料ですねご指摘の通り不備があるところを直していて済むような話ではないと、認識しましたのですみません一度もう一度立ち返って資料の
1:37:19	整理をし直させていただいてもう一度ヒアリングをお願いしたいと考えております。大変貴重な時間を使っただいて申し訳ございませんけどもう一度整理する時間をいただきたいと思います。以上でございます。
1:37:34	規制庁不足です。仕切り直すということであればあまり、
1:37:39	言ってもしょうがないとは思んですけど、私なりにこれネットと防護版と比較をし、しようとする。
1:37:48	したとすると、
1:37:50	1階で飛来物防護ネットは審査されていて、
1:37:56	基本設計方針としては入ってはいるものの詳細は今回だということからして認可を受けている、飛来物防護ネットとの対応関係で、こういう、
1:38:07	そういう意見がありますのでこういう形をしていますというようなことの説明をしたいのかなという気はするんですけど、そこら辺はちゃんと整理をして説明いただければと思います。気になったのは、

1:41:01	確認できておりますので、すいませんここも間違えるというふうに思っていたいで、
1:41:08	背が遅いです。
1:41:12	それこそ共通順位で医療 2、資料 3 というところで関連条文をしっかり開けるといところで漏れなく対応してもらわなきゃいけないところなのでしっかりと整理をしてください。
1:41:26	をちょっとしました。
1:41:38	江藤コサクです。決得さんから仕切り直してという話があったので、
1:41:43	どうしようかって感じありますけど、行ったり、タジリさんにお返しします。
1:41:48	アッチャンタジリです。仕切り直しと言われたんでこれ以上っていう気はするんですけど、少し講師だけちょっと確認したい点と、
1:41:58	あと 2 点だけをちょっと目なんですけど、
1:42:02	8 ページ以降で添付 2 があるんですけど、
1:42:05	何か 1 ページに収まりそうなやつを最後の一行だけ次のページにあたりしてちょっと見づらいと調整していただければいいんじゃないか、まず宮さんの観点でちょっと整理してくださいってのは 1 点と。
1:42:16	もう 1 点はちょっと、何もなかったら聞いておきたいんですけど、76 ページのところで、
1:42:22	何も頭ついてたものを撤去して、防護板を設置しますってやつがいるんですけど、これ前から言いましたっけ。
1:42:33	梅野田仲でございます。76 ページについてと、もともとこういうものがございました。世界コウノ設置理由について上の方に、
1:42:43	設置理由、退院した、すいません、開口設置理由って書いてるけど何、何のためにこれやってんだっていうのはその上にちょっと、LERFのたてつけの名前はおかしいですけど一応、
1:42:54	書いてございまして、たとえ制限壁っていうものがもともとそこに、
1:42:58	存在していてそいつ自体には竜巻の、飛来物を受けとめる機能がないということが、
1:43:06	わかりましたので 0、それに対して対策を打つためにそれ 1 撤去して新しく交番をまたつけ直すってところ。
1:43:15	いうところを今やろうとしております。以上です。
1:43:21	長です。ここに立ち入り制限金っていう名前はしないんですけど壁があること自体、
1:43:26	いつここにできる壁厚を持ってたら、

1:43:33	確認したらもたないことが確認できたので板つけかえましてことですかこれ。
1:43:37	はい。日本インター中ですはい。ご理解の通りでございます。
1:43:42	規制庁の田尻です。
1:43:44	何か改めて撤去するようなものなのか手前側に何かやればいだけじゃないのかとかそこらも含めて、また次回にでも確認できればと思うんでよろしくをお願いします。
1:43:55	はい、宮澤でございます次回、また詳しく説明させていただければと思います。以上です。
1:44:03	規制庁タジリつ。
1:44:06	前仕切りが教えてひと月直そうとしてるんでしたっけ。
1:44:25	あ、規制庁コサクです。そもそも何をやらなきゃいけないのかっていったところの整理がちゃんとできてなさそうなので、先ほどの共通 12 全体についてもう改めて
1:44:39	対応方針のリストを提示いただくっていうことにしていますから、
1:44:45	竜巻も一旦それをやっていただいて、いつ何をすべきかっていうのをそこで書いていただくっていう方がいいんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
1:44:56	はい、日本ウエダケットクですありがとうございますもちろん今、ここで席直してみ、言いましたけれども当然時間もかかります。ただ、やるにしてもまた間違った方向でなると大変ですので、我々がやる方向をスタートするといったときに、
1:45:11	作業に入りたいと思いますので、今いただいた、わかっきたいと思います。以上です。
1:45:18	規制庁コサクです。
1:45:21	その意味ではですね私が
1:45:24	今回の添付 123 とは、1234 ですか、合ってるところで、
1:45:31	添付の
1:45:34	34 は、
1:45:38	実際に追加作業が、を検討しているということの具体を、まずは、
1:45:44	説明して方針を聞かせてくれということの対応なので、それでいいんですけど、その際に
1:45:53	その方針がどういう、
1:45:55	位置付けになるのかっていったところをちゃんと理解してやってるかっていうことで、

1:46:00	その上流があってということで、先ほど石黒さんが言われた通りの形だと思ってるんですけど。
1:46:07	その時に、共通 12 の考えに沿って整理してくださいねといったところで、そこが十分できてなかったってということかなと思ってます。で、
1:46:18	共通 12 を整理してしまえば、問題ないんですけど、結構作業も膨大になるし、そこでまたやり直しになってもいけないから、
1:46:31	大枠として間違っていないよねって、作業として認識できてるよねっていう古藤の話をしていただければいいんだと思っていて、
1:46:39	そうする等、
1:46:41	共通中につなぐために何を確定しなくていいかある程度の認識を合わせておきたいかっていうと、やはり
1:46:50	資料 2、
1:46:54	降雨フクリコムには設計説明分類が必要であり、
1:47:01	資料 1 を作りこまなきゃいけないと。
1:47:05	で、設計説明分類の、どの設備がどの分類になるのかということ、
1:47:10	整理しとかなないと、認識が合っていないのでってということで今回添付 1 があってということですけど。
1:47:20	まずは、
1:47:21	どちらにしても、結局はそのどういう分類にするのかっていう、大枠のイメージが共有できていないといけないということでそれが何がぶら下がるのかっていうところが認識できてなきゃいけないっていう古藤につけるので、
1:47:34	基本設計方針一生懸命書くというよりはそれはもともとあるものなので、
1:47:41	と基本その添付 2 のですね。
1:47:44	物がイメージが合えばいいと。その前段として、まずグループ、説明分類として 5、5 種類ありますよねと。
1:47:53	ということなので、まずこれ今添付の 47 分の 1 になってますけど、前も言いましたけど、
1:48:00	ちゃんとその A の方、
1:48:02	整理表です B の整理表 JISC の整理表ですっていうので分けましょうと言ったやつを分けてくれてないっていうのがまず、
1:48:09	いったことをやらないっていう問題点です。
1:48:13	そうすると 5 種類の表になってってということで少なくとも見やすくなるよ、ということなんですけど、

1:48:21	対策設備以外は、先ほど田尻が言ったように、無駄な買いページがあつてみたいなどころになってるぐらいの部分で手当をしてくればある程度見えるかなということがあるんですけど。
1:48:36	あとはその辺、横軸に何でこの設備、こう分けて書いてんのっていったところの考え方をもう少し整理をしてもらおうと。
1:48:46	意味があるのかないのか。
1:48:48	どうして食うのかっていう議論ができるのでその辺りは手当をしといてもらいたいと思います。
1:48:55	対策設備の方は、やったら、
1:48:58	ページが多くて、
1:49:01	もう議論のしようがない感じになっているんですね。
1:49:05	これを少し議論できるようにしてもらわなきゃいけないくて、
1:49:11	ぱっと見たところ妥当、
1:49:14	横軸が書いページになっちゃってるので3ページになり、
1:49:19	基本設計方針からの分解をして、縦に13個分かれていると。
1:49:26	ということで39ページに渡ってるっていう状態なので、
1:49:30	その点は、
1:49:32	もうちょっとまとめて見れるの関連してるところがわかるようにするという工夫が必要なのかなと。
1:49:39	思っています。どちらにしても、これで何が議論したいのかっていうことを、
1:49:44	意識する等、まずそこがわかるように、何か説明をしてもらえれば今日が多少膨大でもですね。
1:49:52	そこを見ながら話ができるっていうことになると思うので、
1:49:56	結局はその開口なり何なりのところの設計方針がどこにあり、それがどこと繋がっていくのか。
1:50:03	ということになるんだと思います。その時に、
1:50:06	もう対策設備だけではなくて、他の分類のその開口との扱いだったり、類似の設計方針のところとの関係だったりっていうのを議論しましょうっていうために、
1:50:18	うん。この5種類対策設備だけじゃなくて、一通り作んなきゃ駄目だよねって話になっていたはずであって、
1:50:26	それがただ作っただけでできるものできてないということが問題だと思いますから、そこら辺整理をして、本文側なりテンプレの前川で文章なりと、

1:50:35	ということでまとめていただければと思います。
1:50:41	はい。日本原燃石黒です。はい。御説明いろいろありがとうございました。小路です。
1:50:59	規制庁山口です。
1:51:02	か、前、
1:51:04	体を通して規制庁側からご確認ございますでしょうか。
1:51:09	もしニイツ出すとか言ってないんです。
1:51:15	規制庁山口です。
1:51:16	当スケジュールに関して、竜巻の、
1:51:21	方も対応方針を示すってことですがそれをいつ示すかとかまた明日の今後の進め方なりで、
1:51:28	っていうことでよろしいでしょうか。
1:51:32	日本原燃石黒です。はい。
1:51:35	通りささせていただきます。
1:51:38	はい、季節ヤマグチです。
1:51:40	オカイトウ規制庁側から全体を通して確認ございますでしょうか。
1:51:48	藤原燃側も特によろしいでしょうか。
1:51:57	日本原燃石黒です。はい。特にはございません。
1:52:01	それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を停止し、